



おかげさまで10周年  
成瀬ダム工事事務所

# 2025

人に まちに うるおいを・・・。



令和7年度

# 成瀬ダム事業概要

Ver.2025.4a

国土交通省 東北地方整備局



成瀬ダム工事事務所

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Tohoku Regional Development Bureau, Naruse Dam Construction Office

## 令和7年度予算概要

令和7年度当初予算 約 207億円 (前年度比 1.08)

※令和6年度予算 約191億円(当初)

## 令和7年度の主な業務

### ①用地調査・取得

- ・管理設備における用地調査及び協議

### ②工事関係

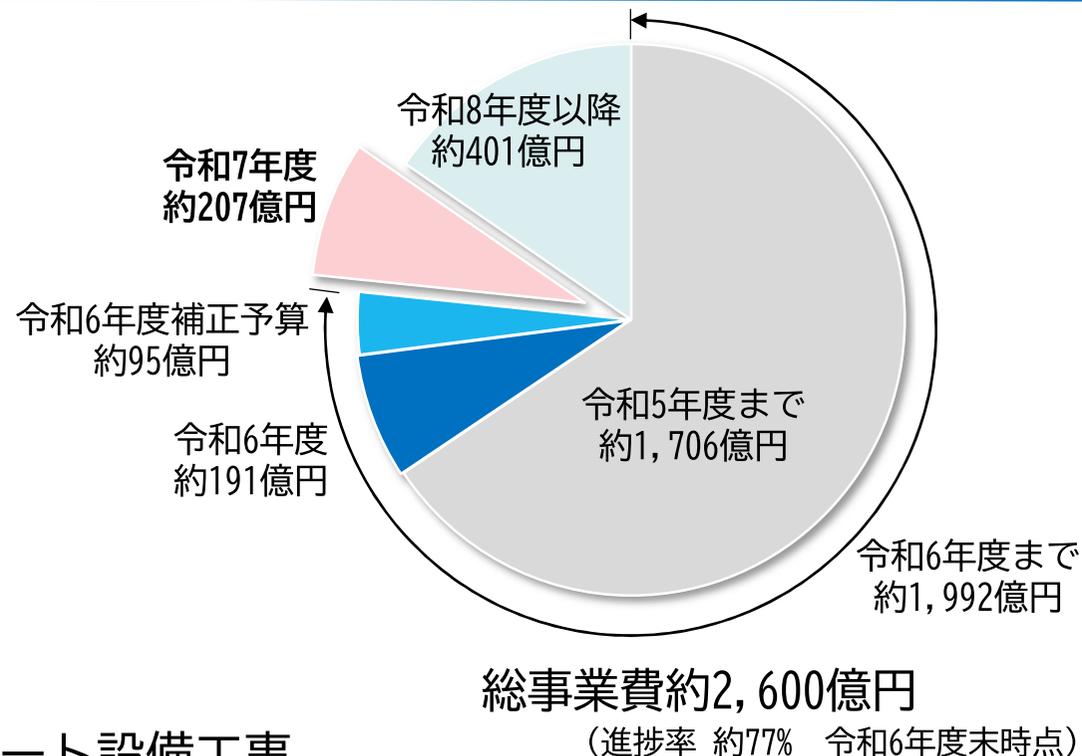
- ・ダム本体工事（堤体打設）、試験湛水用ゲート設備工事  
取水設備据付工事及びダム照明設備工事の着手
- ・管理庁舎建築、ダム管理用制御設備等の整備
- ・ダム管理用道路の整備

### ③調査・設計

- ・試験湛水計画検討、CSG施工技術検討、管理用道路・観測設備の設計
- ・ダム基礎地盤評価、基礎処理の解析・評価、連携運用検討
- ・水理・水文調査、環境調査及び保全対策、地すべり観測・自動観測機器設置

### ④地域活性化・広報

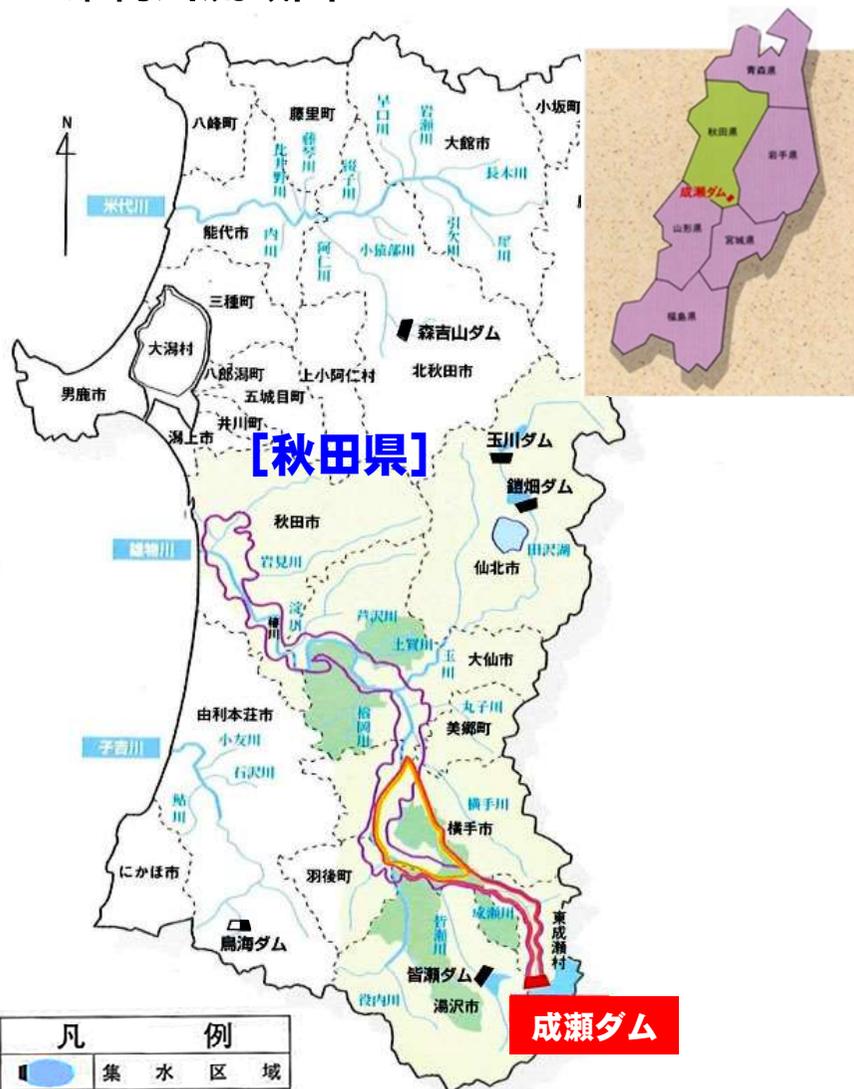
- ・成瀬ダム建設事業の理解促進、建設業の魅力発信のための広報活動
- ・水源地域ビジョンの策定、成瀬ダムを核とした地域活性化の検討



# 成瀬ダム完成イメージ



## 雄物川流域図



凡	例
	集水区域
	洪水氾濫防止区域
	不特定用水補給区域
	かんがい用水補給区域
	上水道供給区域
	雄物川流域
	ダムサイト

秋田県雄勝郡東成瀬村  
(雄物川水系成瀬川)

事業費 約2,600億円  
工期 令和9年度

## 成瀬ダムの目的

### ①洪水調節

成瀬ダムの建設される地点における計画高水流量 $460\text{m}^3/\text{s}$ のうち、 $410\text{m}^3/\text{s}$ の洪水調節を行います。

### ②流水の正常な機能の維持

成瀬ダム下流において 既得用水の補給や河川環境の機能維持と増進を図ります。

### ③かんがい

皆瀬川、成瀬川及び雄物川沿岸の平鹿平野地区約 $10,050\text{ha}$ の農地に対するかんがい用水の補給を行います。

### ④水道(湯沢市、横手市、大仙市)

湯沢市、横手市、大仙市に対して、新たに1日最大 $13,164\text{m}^3$ の水道用水の取水を可能にします。

### ⑤発電(秋田県)

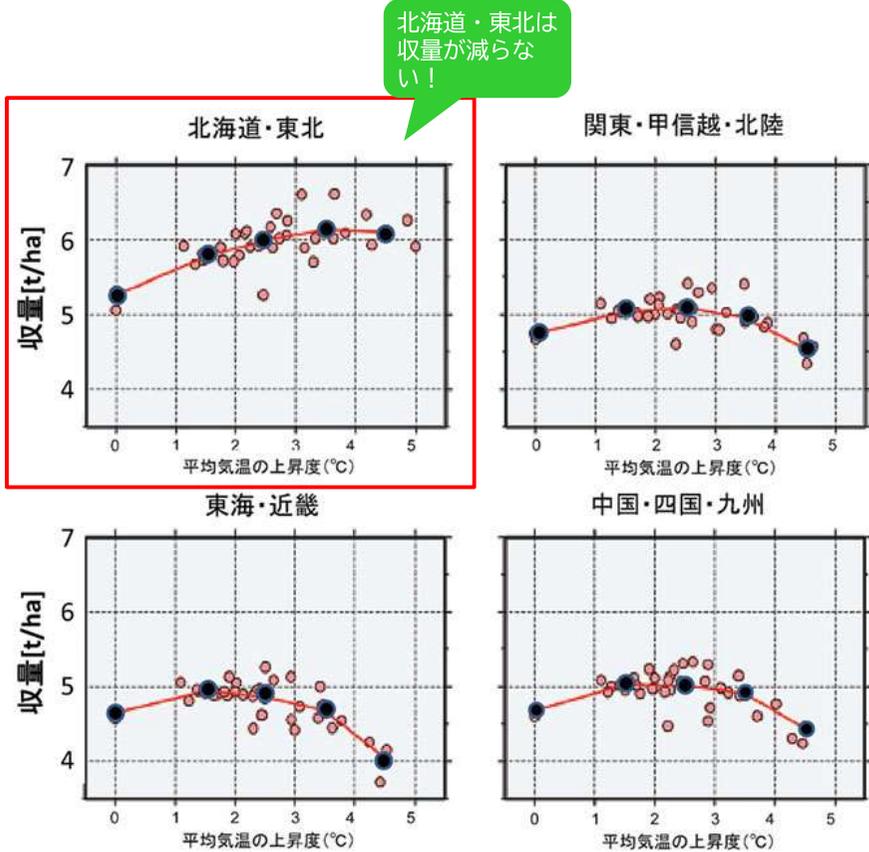
成瀬ダムの建設に伴って新設される成瀬発電所(仮称)において、最大出力 $5,800\text{kw}$ の水力発電を行います。

# 【成瀬ダム】気候変動等を踏まえたかんがい用水の必要性

# Naruse Dam

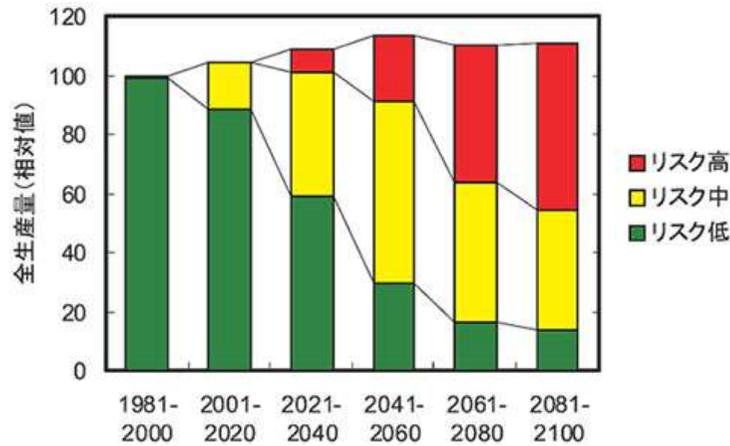
- 気候変動によって平均気温が上昇することにより、北海道・東北以外の地域においてコメ収量が減少すると予測<sup>\*</sup>され、食料安全保障の観点から東北地方での稲作需要は大きくなる。また、気候変動により気候が極端化することが指摘されている。（※農業環境技術研究所）
- 主食用米の需要量については、長期的に減少傾向で推移。人口減少と相まって今後も主食用米の需要減少傾向が続くと予想されている。しかし、需要は減少しているものの、我が国において米が主食であることは変わっていない。（※農林水産省）
- 更に、秋田県で生産される「あきたこまち」は、2025年から海外の厳しいカドミウムやヒ素の基準をクリアするあきたこまちRに切り替え、国内流通に加え、海外への販路拡大を見据えている。（※秋田県）
- 秋田県は全国3位の米生産量であるとともに、農家率も全国1位である。（※農林水産省）成瀬ダムにおいてかんがい用水を確保する平鹿平野は全国有数の穀倉地帯であり、気候変動や海外への販路拡大等の情勢を踏まえると、ダムによる安定水源確保の必要性は今後も変わらず重要。

## ●平均気温の上昇度に対する地域平均コメ収量の変化予測



農業環境技術研究所WEBサイトから引用（成瀬ダム工事事務所が加筆）

## ●適応策をとらない場合のわが国のコメ全生産量と品質低下リスクの予測



農業環境技術研究所WEBサイトから引用（成瀬ダム工事事務所が加筆）



## あきたこまちRに切替する理由は

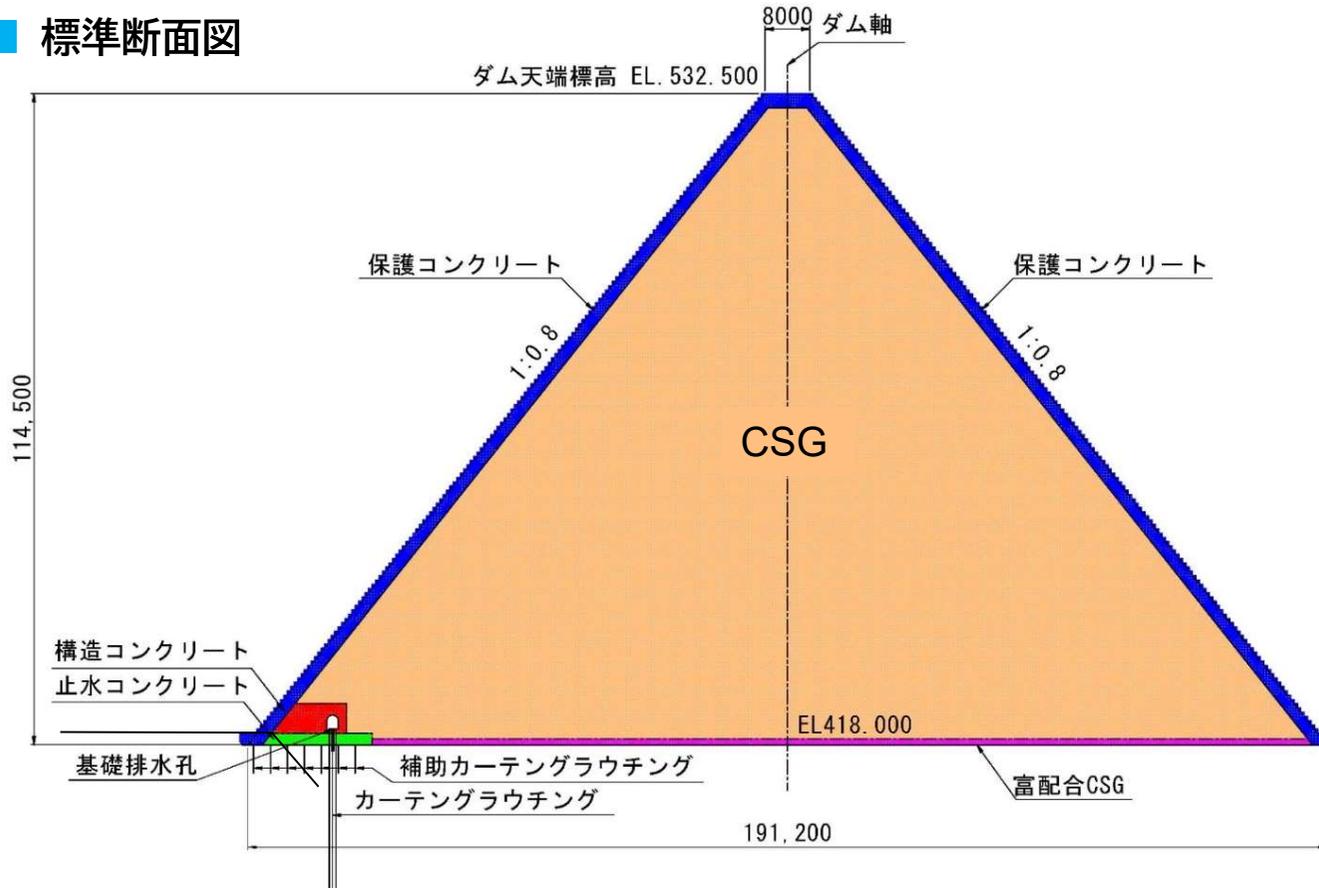
- 海外の基準値に合わせて、国内基準値が厳しくなっても対応できるようにするためです。  
→米産県として将来を見据え、国内外の消費者に安全なコメを供給していくことが重要です。
- 「カドミウム」と「ヒ素」の両方を低減するためです。  
→カドミウムとヒ素の水管理の対策は全く逆になります。カドミウム低吸収の「あきたこまちR」に切り替えると、湛水管理が不要となり、両方を低減することが可能となります。

海外ではカドミウムやヒ素の基準は日本より厳しい  
 [カドミウム] 日本: 0.4ppm → 香港・シンガポール: 0.2ppm, EU: 0.15ppm  
 [無機ヒ素] 日本: 未設定 → 香港・シンガポール・コーデックス委員会: 0.35ppm

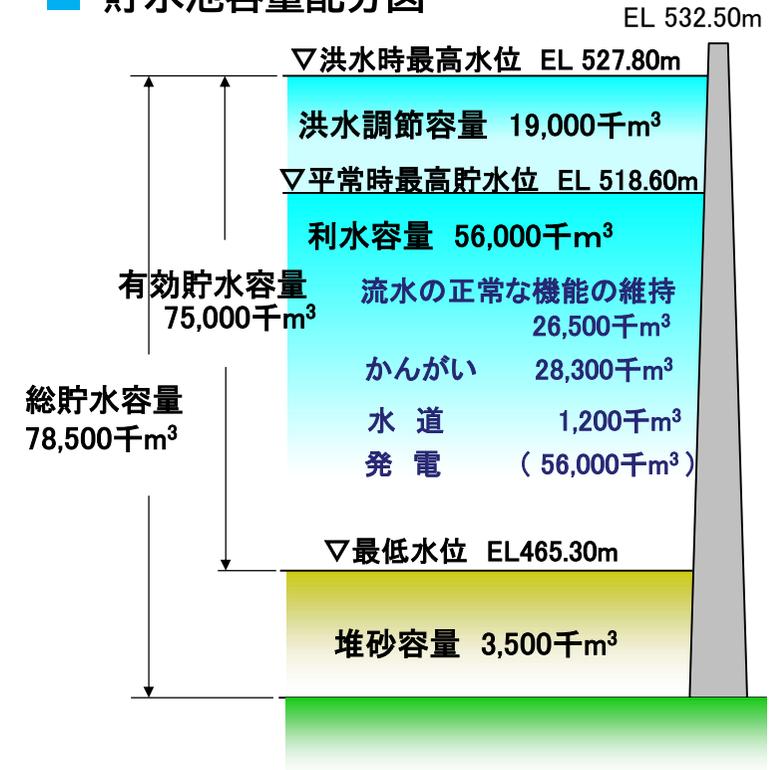
輸出拡大にも対応が必要

令和7年から「あきたこまちR」へ切り替わります！ - 秋田県から抜粋

## 標準断面図



## 貯水池容量配分図



## 成瀬ダムの諸元

施設名	成瀬ダム	備考
ダム形式	台形CSGダム※	
ダム高	114.5m	台形CSGダムで日本一
堤頂長	755.0m	台形CSGダムで日本一
堤体積	4,850千m³	台形CSGダムで日本一
総貯水容量	78,500千m³	台形CSGダムで日本一
湛水面積	2.26km²	
集水面積	68.1km²	

### ※台形CSGダム

台形CSGダムは、建設現場周辺で手近に得られる石や砂れきとセメント、水を混合してつくるCSG (Cemented Sand and Gravelの略) を使い、堤体の上流面と下流面が同じ勾配をもつ台形型に造るダム型式です。

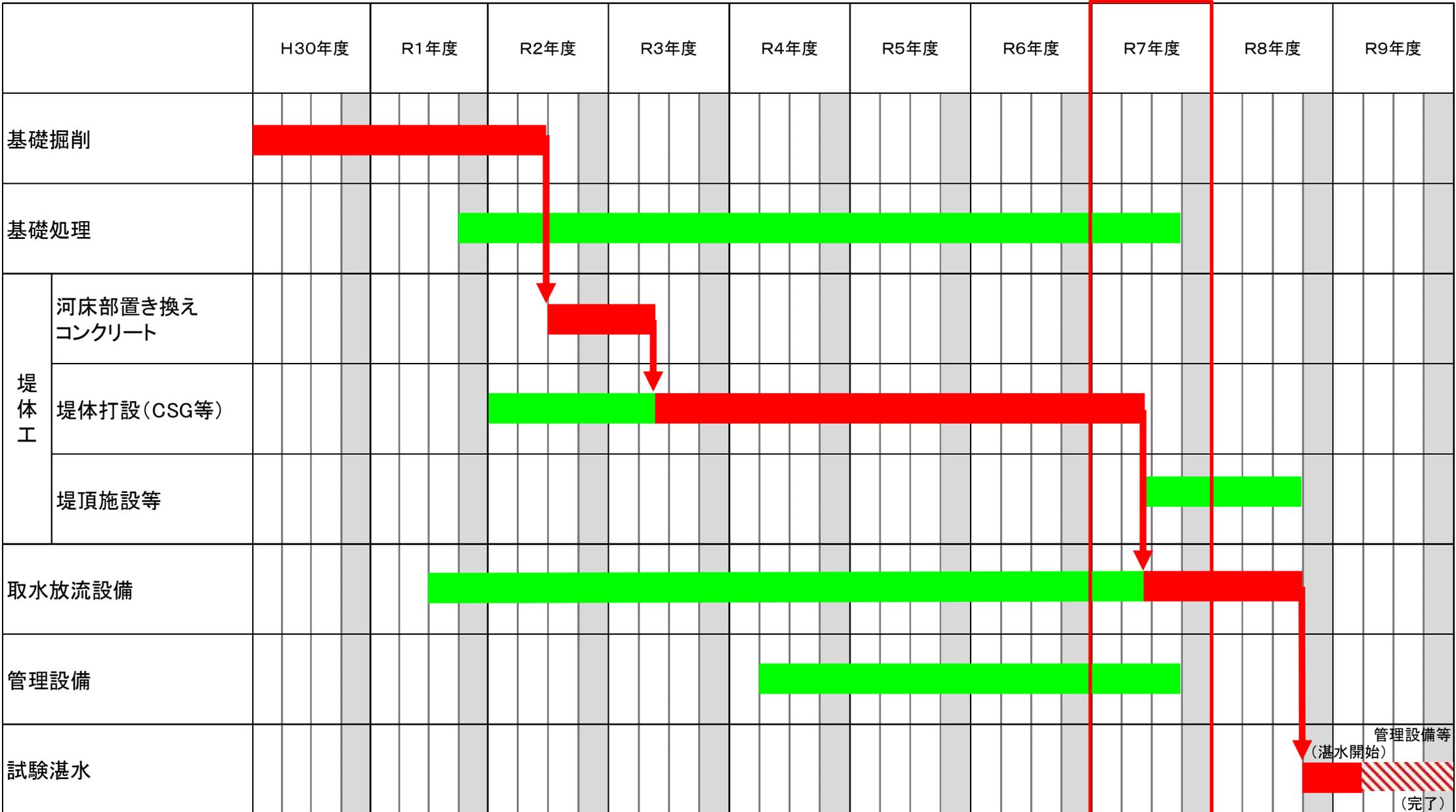
この台形CSGダムは、日本で開発された比較的新しいダム形式です。

昭和58年	4月	実施計画調査開始（秋田県）
平成3年	4月	国直轄事業に移行（現：湯沢河川国道事務所所管）
平成9年	4月	建設事業着手
平成13年	5月	基本計画官報告示（H13.5.29：国土交通省第887号）事業費：1,530億円 工期：平成29年度
平成13年	10月	下流工事用道路工事着手 ※岩井川地区L=3.28km
平成15年	3月	用地補償基準妥結
平成17年	3月	付替国道342号工事着手
平成20年	1月	「雄物川水系河川整備基本方針」策定（H20.1.28）
平成21年	3月	仮排水トンネル 着手
平成21年	12月	下流工事用道路完成（供用開始）
平成21年	12月	検証の対象となるダム事業に選定
平成24年	4月	付替国道342号一次供用区間開通
平成24年	8月	仮排水トンネル 完成
平成25年	1月	ダム検証に係る対応方針決定（継続）（H25.1.25）
平成26年	3月	基本計画（第1回変更）告示（H26.3.12：国土交通省第304号）事業費：1,530億円 工期：平成36年度
平成26年	4月	成瀬ダム工事事務所 開所
平成26年	11月	「雄物川水系河川整備計画」策定（H26.11.28）
平成29年	3月	新事務所庁舎開所（H29.3.23）
平成29年	4月	「雄物川水系河川整備計画」変更（H29.4.13） ※ダム型式変更
平成29年	9月	基本計画（第2回変更）告示（H29.9.12：国土交通省第822号） ※ダム型式変更（ロックフィルダム→台形CSGダム）
平成30年	3月	仮排水トンネルへ転流開始（H30.3.26転流式）
平成30年	9月	ダム本体工事着工（H30.9.15着工式）
令和元年	10月	ダム堤体打設開始（R1.10.15初打設式）
令和3年	9月	基本計画（第3回変更）告示（R3.9.10：国土交通省第1255号）事業費：2,230億円 工期：令和8年度
令和4年	5月	定礎式（R4.5.14）
令和5年	4月	付替国道342号全線開通式（R5.4.29）
令和6年	8月	基本計画（第4回変更）告示（R6.8.27：国土交通省第1113号）事業費：2,600億円 工期：令和9年度
令和6年	11月	ダム堤体CSG打設完了（R6.11.20CSG打設完了式）

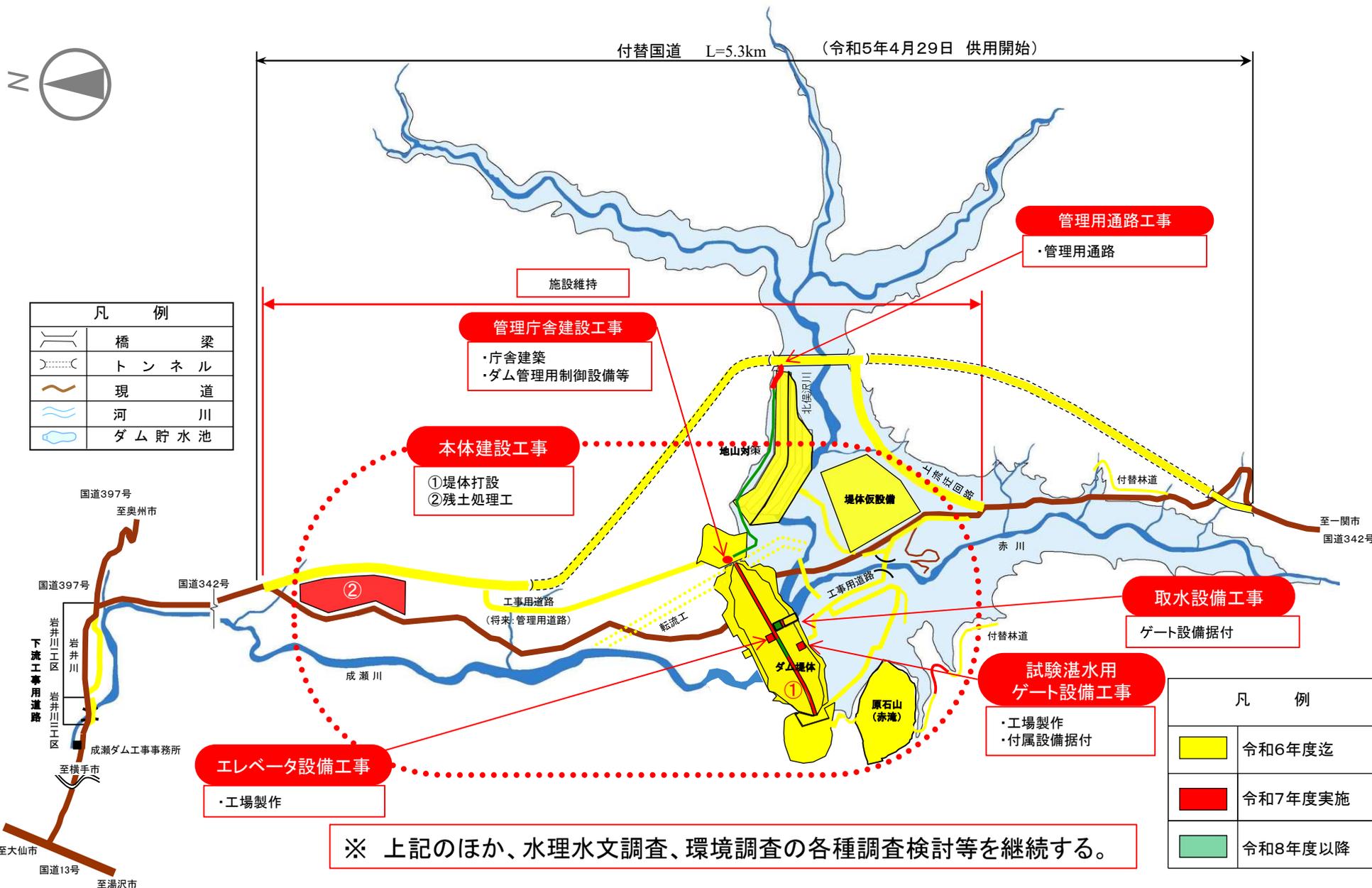
補償基準他	H15.3 東成瀬村(村有地)用地買収に関する覚書締結	
用地取得 (312.1ha)	約99%(310.8ha)	
家屋移転 (11戸)	100%(11戸)	
付替国道・付替林道 (約7.3km)	約99%(7.2km/7.3km)	
	※下流工事用道路は含まない	
ダム本体及び 関連工事	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">仮排水トンネル 100%</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">基礎掘削 100%</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">堤体打設 約99%</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">試験湛水</div> </div>	
事業進捗率 (約2,600億円)	約77%(約1,992億円)	

## 令和9年度(2027年度)完成予定

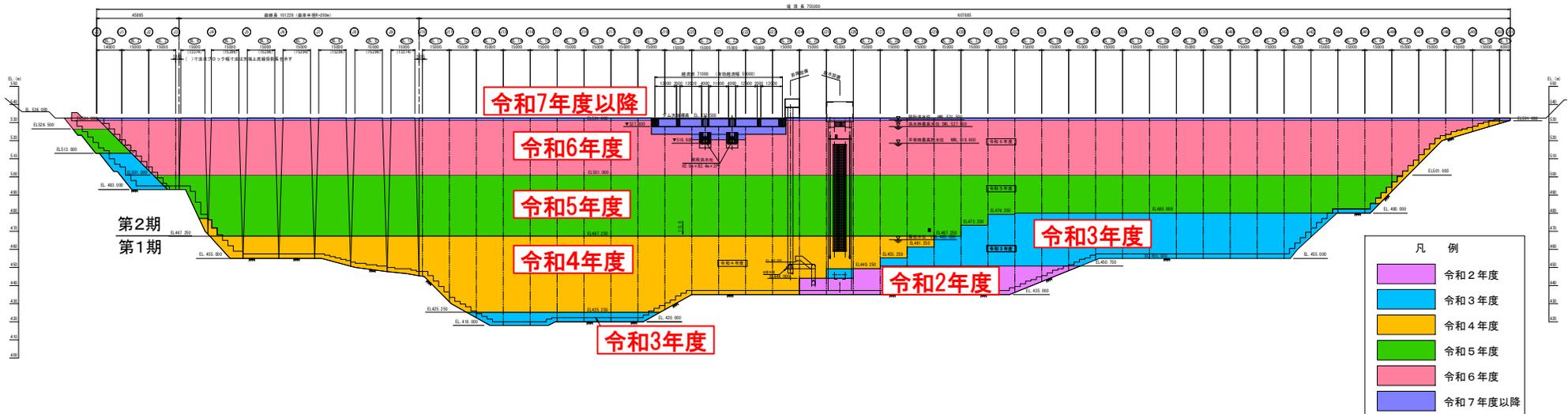
(令和7年3月31日時点)



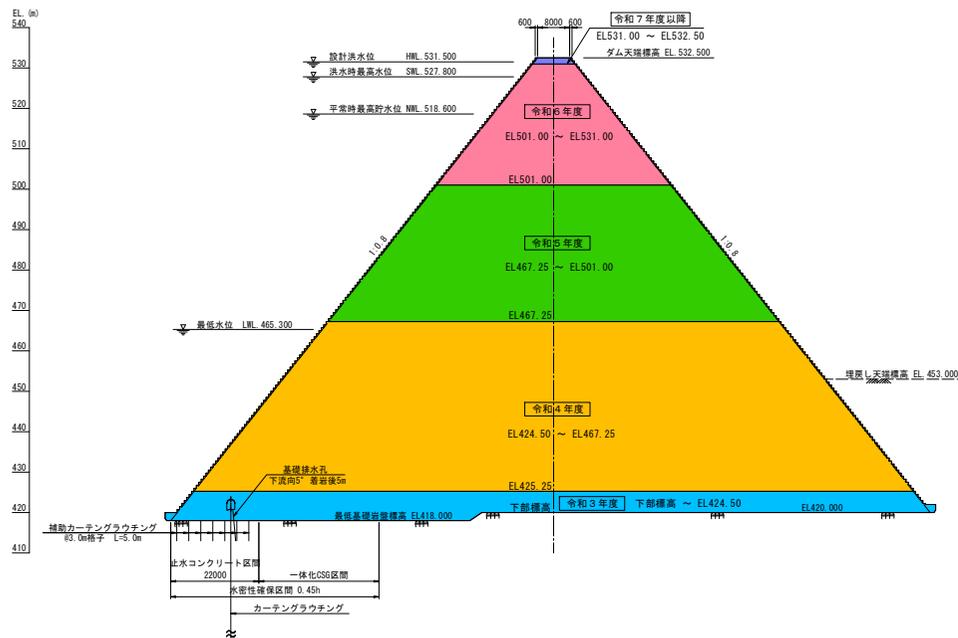
※矢印は、クリティカルパスを示す。



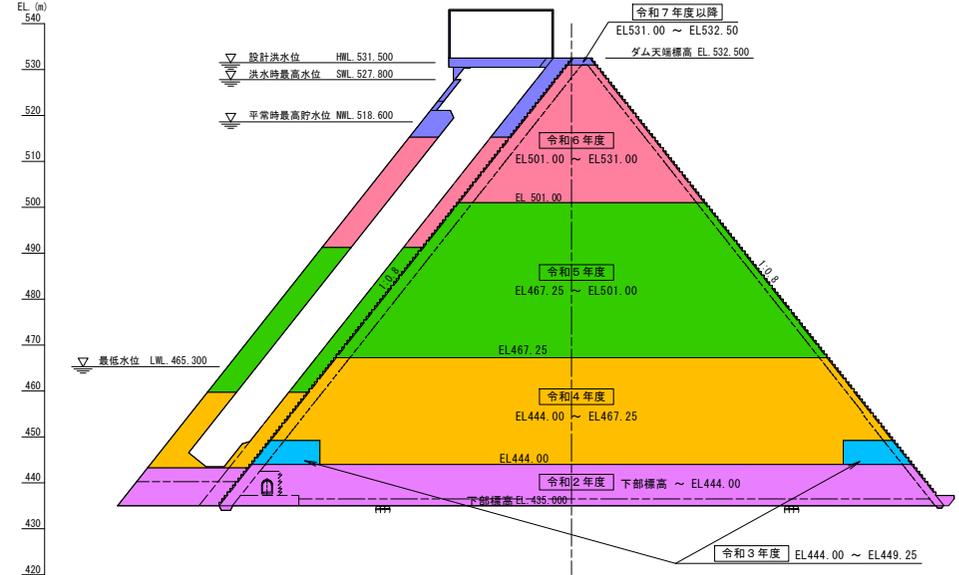
ダム正面図（上流面図）



ダム標準断面図（最大断面）



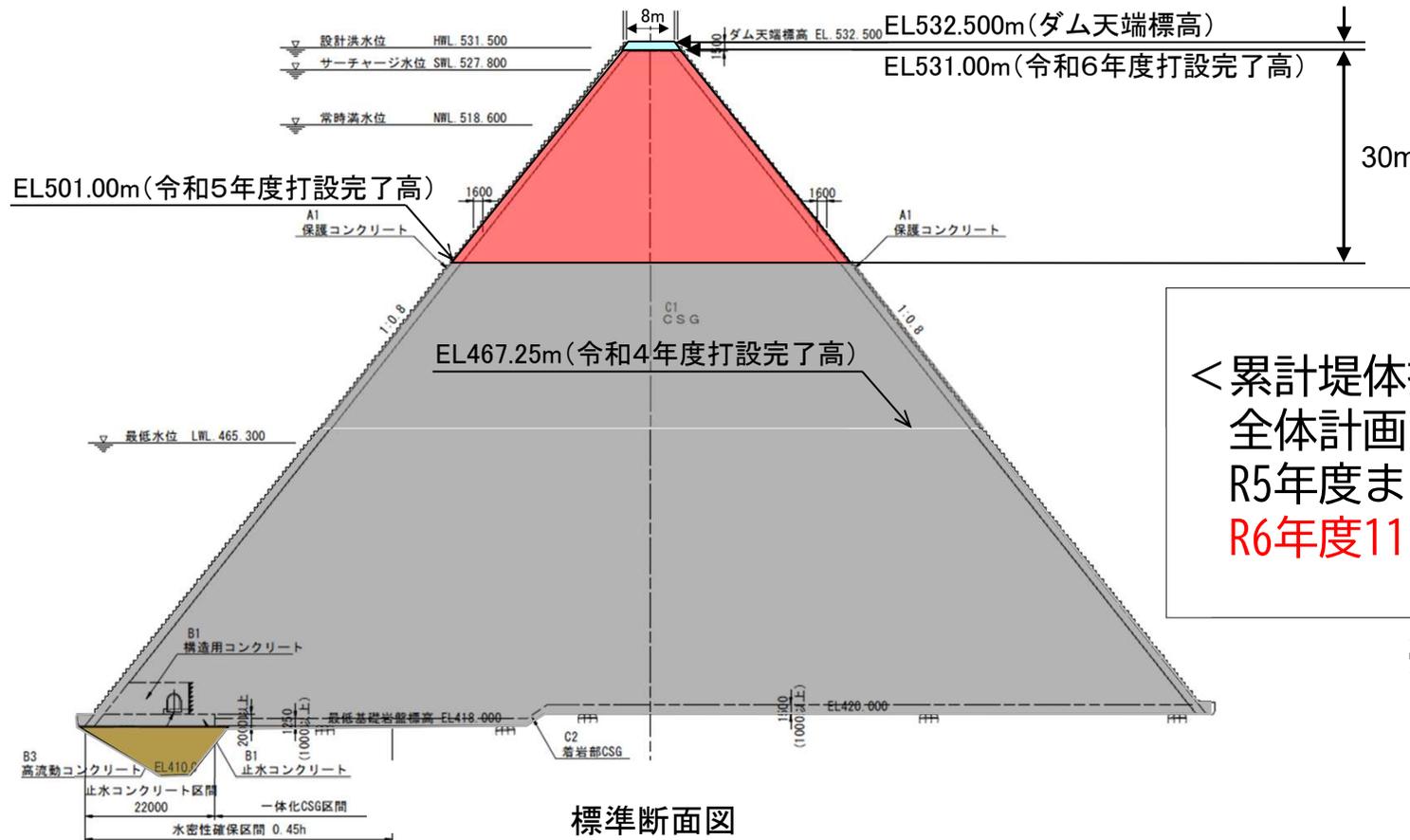
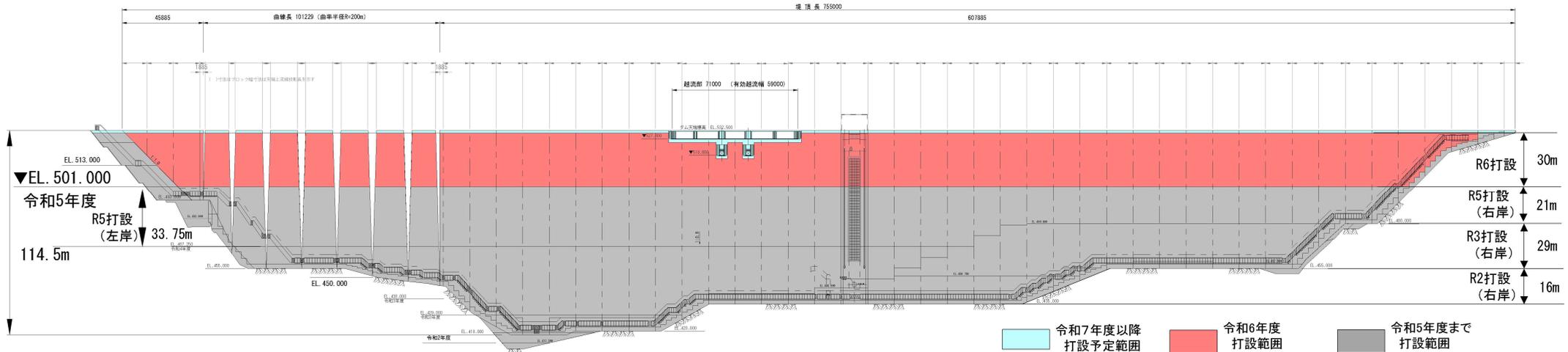
ダム標準断面図（取水塔部）



※ダム上流面図とダム標準断面の縮尺は異なる

※計画は現時点の予定であり、今後変わる場合がある。

上流面図



<累計堤体打設実績>  
 全体計画 485万m<sup>3</sup>  
 R5年度まで 413万m<sup>3</sup>(約85%)  
 R6年度11月末まで 481万m<sup>3</sup>(約99%)

※R6年度は11月で打設完了

- 成瀬ダムは、以下の①～④の工程において自動化施工を行っていました。
- 令和6年11月20日にCSG打設は完了しました。



※SP-TOM  
(Spiral Pipe Transportation Method)

鋼管内に硬質ゴム製のブレード(羽根)をらせん状に取り付け、管自体を回転させることにより、コンクリートなどを分離させることなく、定常的、連続的に下方へ搬送する技術。従来、ベルトコンベヤでは対応が困難であった急傾斜地においても、輸送を可能にします。



①CSG運搬 (ベルトコンベア、SP-TOM※)  
CSG製造プラントで製造されたCSGは、ベルトコンベア、SP-TOMでダムまで運搬します。



③CSG敷均し  
1層25cmの厚さになるようにブルドーザーで敷均します。これを3回繰り返して締め固め後に75cmになるように敷均します。



②CSG運搬 (ダンプトラック)  
ダンプトラックにより打設を行う場所までCSGを運搬します。



④CSG締め固め (転圧)  
CSGを敷均した後、振動ローラーで締め固めを行います。この工程を繰り返して成瀬ダムを建設していきます。

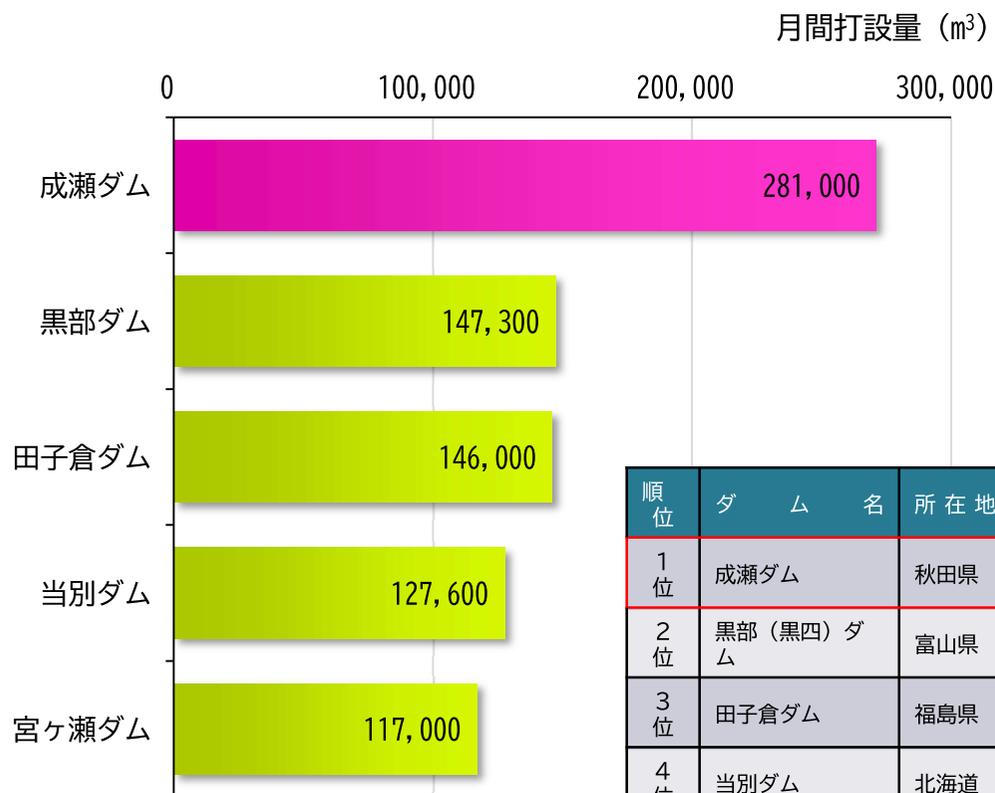
# 月間打設量の国内最高記録を樹立

○成瀬ダムは、令和元年10月にダム堤体の打設を開始。CSGの打設に工事受注者が開発した建設機械の自律・自動運転による次世代建設生産システム「A4CSEL®」や保護コンクリートの打設に置き型枠自動スライドシステム等の先進的な自動化技術を全面採用し、国内最大級の大規模台形CSGダム的高速施工を実現しています。

○令和5年5月の1ヵ月間で28.1万m<sup>3</sup>のCSGおよびコンクリートを打設し、コンクリート系ダム工事における月間打設量の国内最高を大きく更新しました。

※これまでの最高記録は、黒部ダムが1960年8月に記録した14.73万m<sup>3</sup>。

## ■ 国内ダム月間打設量ランキング



順位	ダム名	所在地	月間打設量	達成年月	事業者
1位	成瀬ダム	秋田県	281,000m <sup>3</sup>	2023年5月	国土交通省
2位	黒部(黒四)ダム	富山県	147,300m <sup>3</sup>	1960年8月	関西電力
3位	田子倉ダム	福島県	146,000m <sup>3</sup>	1958年5月	J-POWER
4位	当別ダム	北海道	127,600m <sup>3</sup>	2009年9月	北海道
5位	宮ヶ瀬ダム	神奈川県	117,000m <sup>3</sup>	1993年3月	国土交通省

出典：各ダムの工事誌等から整理



ダム堤体の進捗状況(R6. 11. 27現在)



自動化施工による堤体CSG打設



【右岸】

ベルトコンベア(撤去中)

管理庁舎(建築中)

仮設備ヤード

赤滝左岸ストックヤード

原石山

洪水吐

【左岸】

管理用道路



原石山

【左岸】

洪水時最高水位(SWL)  
平常時最高貯水位(NWL)

赤滝左岸ストックヤード

洪水吐

取水塔

ベルトコンベア  
(撤去中)

管理庁舎  
(建築中)

【右岸】

# 成瀬ダム工事進捗状況(令和6年11月27日撮影)



濁水処理プラント

【右岸】

洪水時最高水位  
(SWL)

【左岸】

# 成瀬ダム工事進捗状況(令和6年11月27日撮影)

仮設備ヤード

A系: 保護コンクリート  
B系: 内部構造コンクリート

コンクリート製造ライン

A系骨材製造設備

原石山材破碎設備

A系・B系コンクリート製造設備

B系骨材製造設備

原石山破碎材  
ストックヤード

CSG材2次ストックヤード  
(段丘材・破碎材)

段丘材  
ストックヤード

CSG製造設備  
(MYミキサ・破碎材SPミキサ)

CSG製造ライン

# 成瀬ダム工事進捗状況(令和6年11月26日撮影)

原石山



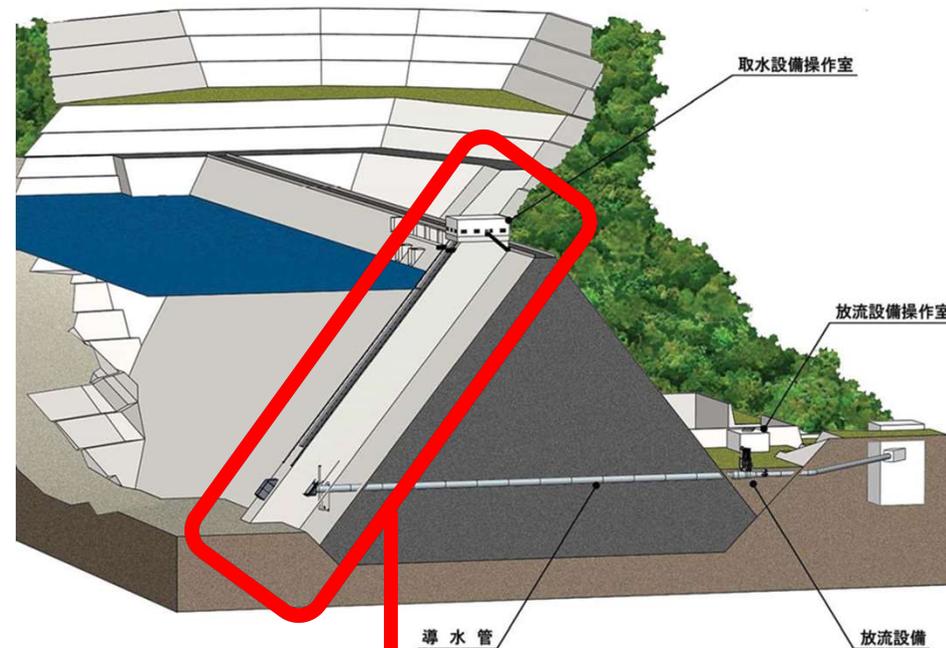
EL.680m

原石山展望台  
EL.535m

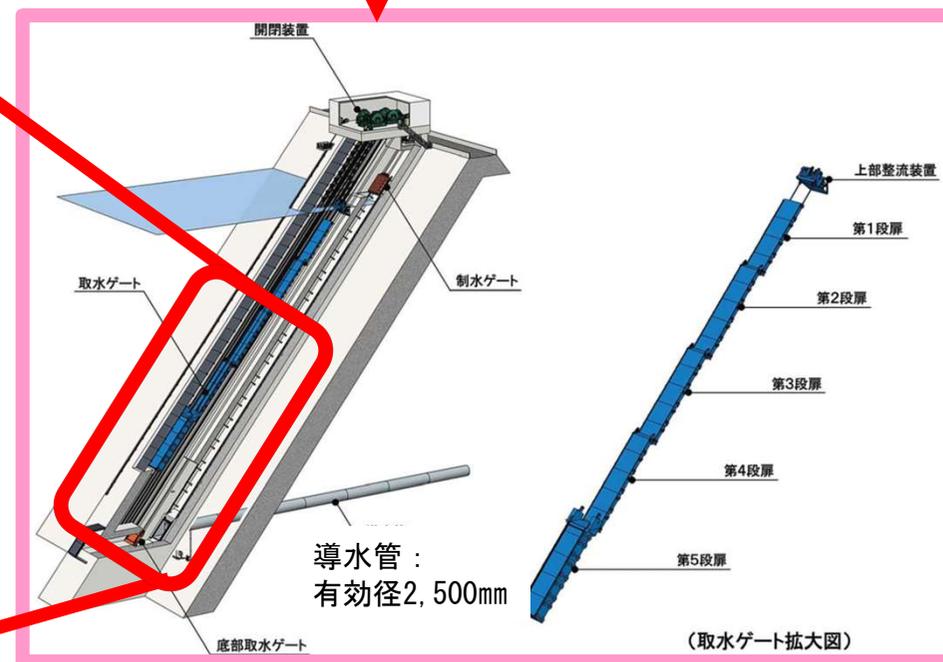
# 取水設備新設工事の進捗状況

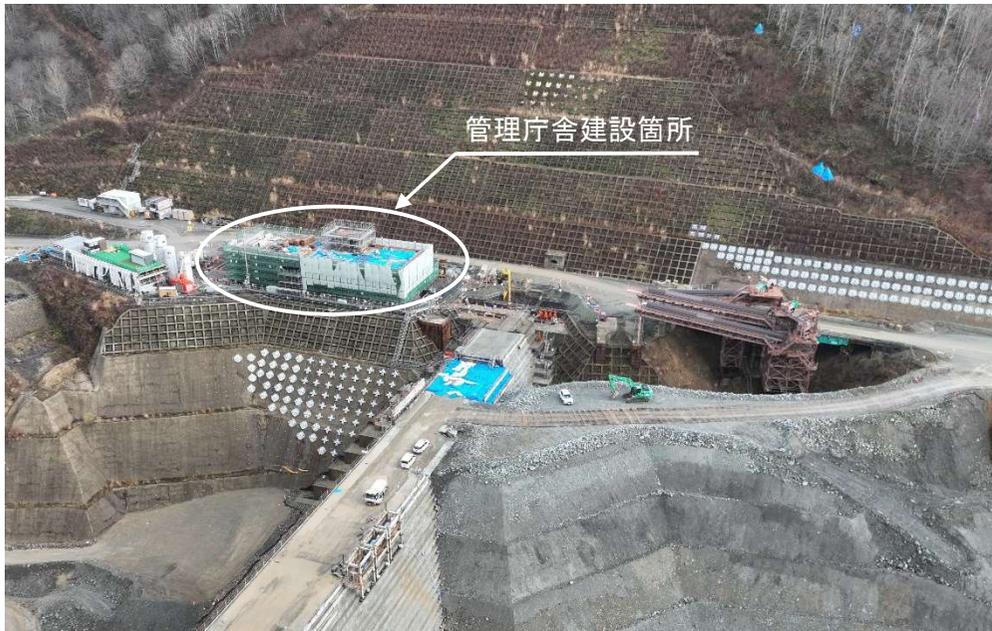
- ・ 設備の目的：下流への利水補給、発電
- ・ 取水方式：選択取水（任意の水位からの取水可能）
- ・ 取水量：最大18m<sup>3</sup>/s  
（但し、底部取水能力は最大46m<sup>3</sup>/s（水位がSWL時））
- ・ 形式：直線多段式ローラゲート

※SWL：洪水時最高水位（サーチャージ水位）

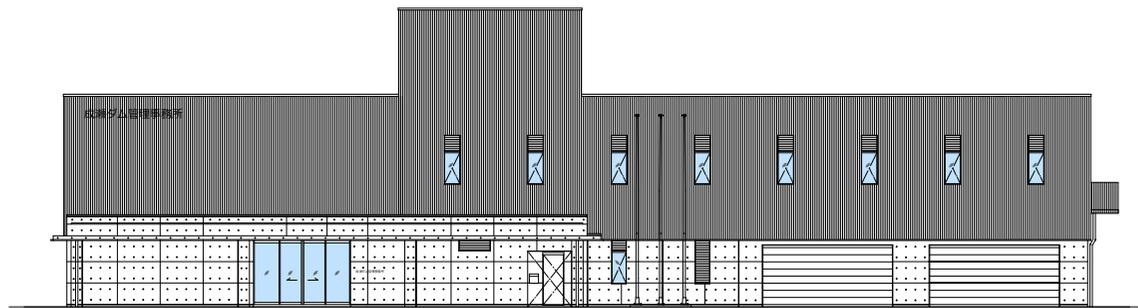


取水設備呑口部施工状況（R6. 10. 25撮影）

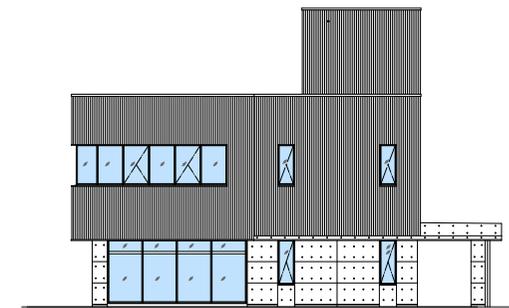




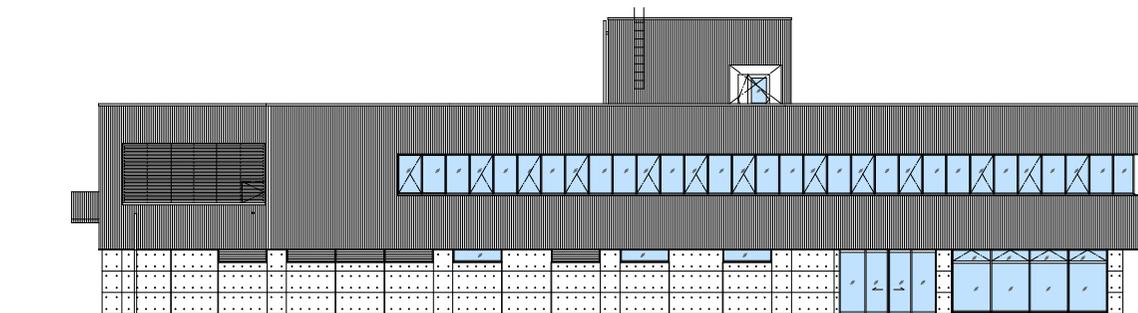
令和6年11月27日撮影



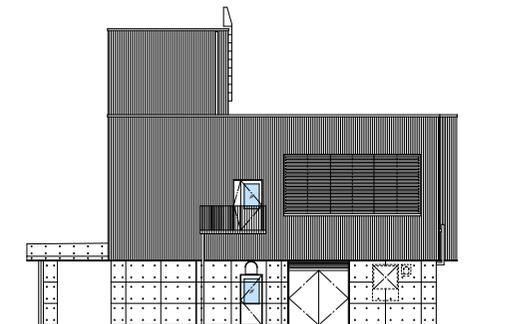
東立面図



南立面図



西立面図



北立面図

- 成瀬ダムは平成30年9月に本体工事に着工し、工事を進め、11月20日に主構造であるCSGの打設が完了。
- 令和7年度も堤体コンクリートの打設は継続するが、工事の節目であることから「成瀬ダム堤体打設工事CSG打設完了式」を関係者出席のもと開催。※CSG打設は令和2年6月から開始しCSG総打設量は約430万m<sup>3</sup>。

- 開催日時 令和6年11月20日（水）14時～14時30分
- 実施場所 成瀬ダム右岸天端
- 主催 鹿島・前田・竹中土木特定建設工事共同体
- 出席者 東成瀬村、成瀬ダム工事事務所、関係機関  
（大仙市・横手市・湯沢市・雄物川筋土地改良区・  
秋田県雄勝地域振興局・秋田県公営企業課）  
JV、協力会社 合計266名

- 記念行事 イベントで参加者作成のメモリアルストーン敷設
- 式典次第
  - ①挨拶 成瀬ダム工事事務所長 安部 剛
  - ②打設合図 堤体JV 工事課長代理 伊澤 拓郎
  - ③ダンプ・ブルドーザーによる打設
  - ④万歳三唱 東成瀬村副村長 谷藤 登
  - ⑤全体記念撮影

## ○式典

## ○記念行事



①挨拶（安部所長）



②打設合図



③ダンプ・ブルドーザーによる打設



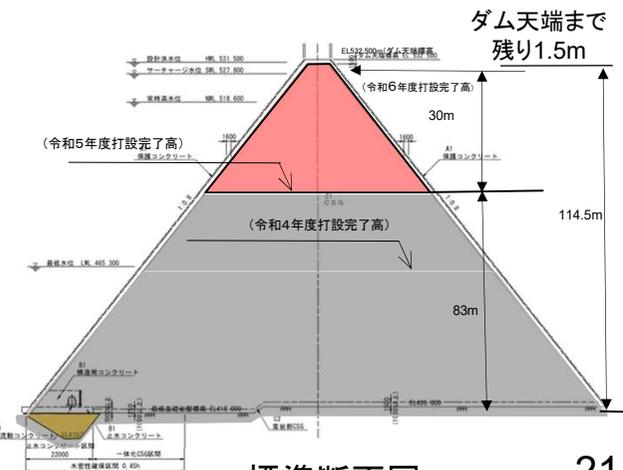
メモリアルストーンの敷設



④万歳三唱（谷藤副村長）



⑤全体記念撮影



標準断面図

# [DX]ダム堤体打設の自動化による「現場の工場化」Naruse Dam

- 成瀬ダム堤体打設工事では、建設機械の自動化システム「A<sup>4</sup>CSEL<sup>®</sup>」※1を導入し、熟練オペレーターの操作分析を基にプログラミングされたブルドーザや振動ローラ、ダンプトラックによる自動化施工を実施。
- 現場から400km離れた神奈川県の実験フィールドの3名のITパイロットが、3機種14台もの自動化建設機械を昼夜連続で管制。
- IT等異分野との技術融合により、苦渋作業の解消、安全性の向上、省人化等建設業が抱える様々な課題に対応。



自動化施工を管制するITパイロット



①CSG運搬（ベルトコンベア、SP-TOM※2）  
CSG製造プラントで製造されたCSGは、ベルトコンベア、SP-TOMでダムまで運搬します。



撮影:西山芳一

②CSG運搬（自動ダンプトラック）  
自動ダンプトラックにより打設を行う場所までCSGを運搬します。



撮影:西山芳一

③CSG敷均し  
1層25cmの厚さになるように自動ブルドーザで敷均します。これを3回繰り返して締め固め後に75cmになるように敷均します。



撮影:西山芳一

④CSG締め固め（転圧）  
CSGを敷均した後、自動振動ローラで締め固めを行います。この工程を繰り返して成瀬ダムを建設していきます。

※1 (株)鹿島建設の登録商標  
Automated/ Autonomous/Advanced/ Accelerated construction system for Safety, Efficiency, and Liability

※2 Special Pipe Transportation Method: パイプを回転させることで材料分離させずに品質を保ったまま自重で高所から低所へ連続搬送する手法

※令和6年度は、③④の工程で自動化施工を行います。

- 成瀬ダム堤体打設工事では、堤体を構成するCSG材の粒度の管理はふるいによる従来法で行っていた。
- 従来法は、人力により1回/h（施工初期）の頻度で測定を行っており、品質管理に多大な労力と時間を要している。
- 粒度管理にAIを用いたCSG材粒度画像解析を採用し、従来の抜き取り確認に対して連続監視が可能になり、「試験にかかる苦渋作業の削減」を可能とした。

## 現状の課題

- 「ひし形理論」を適用する上で、**粒度・表面水量**の測定は必要不可欠。
- 人力により1回/h（施工初期）の頻度で実施。
- 品質管理に**多大な労力と時間を要している**。

## 成瀬ダムにおける粒度・表面水量連続監視 「試験にかかる苦渋作業の削減」



▲成瀬ダムのCSG製造設備（同様の構造を3系統配置）

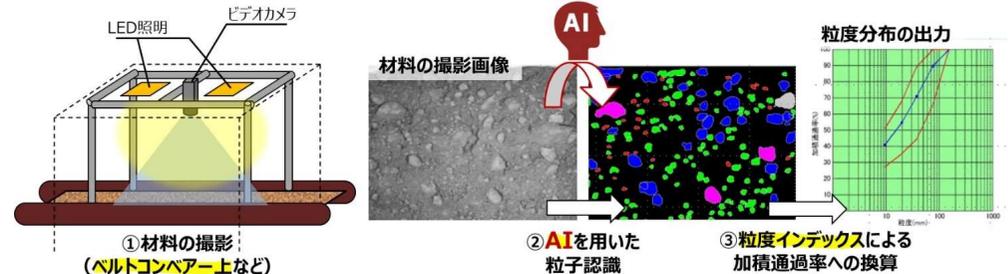
画像解析による  
粒度の連続監視



近赤外線水分計  
による表面水量  
の測定\*

## 品質管理を自動化した管理システム\*の構築

\*「PRISM（官民研究開発投資拡大プログラム）| 内閣府」に採択。



▲AIによる粒度画像解析



▲近赤外線水分計による表面水量測定\*



▲AIによる粒度画像解析

# [DX]クローラドリルの穿孔エネルギーによる岩級判定 Naruse Dam

- 成瀬ダム原石山採取工事では、発破のため穿孔する際に、クローラドリル穿孔時のエネルギーから地質を判定する技術と、GNSS等による測位ガイダンス技術を融合した穿孔エネルギー評価法（T-iBlast DAM）を岩級判定に活用。
- 穿孔作業を細かい間隔でおこない、穿孔エネルギーから、あらかじめ設定した良材と廃棄材の閾値により、掘削ベンチ内部の地質を3Dモデルで見える化。これにより事前に堤体材料としての品質を満足しない廃棄岩の量を把握し、原石山から効率的に堤体材料を採取することによりコスト削減を実現。



成瀬ダムの原石山



削孔中のクローラドリル



クローラドリルの操縦席



GNSS等による削孔深度と岩盤の硬度がモニタに表示

# 【DX】締固め品質の面的計測(比抵抗)

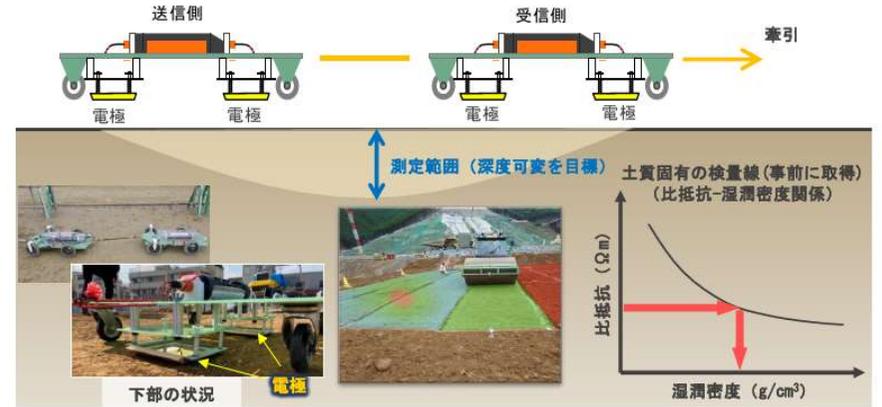
- 成瀬ダムでは、堤体を構成するCSG材の密度管理は砂置換法とRI法により行っていた。
- RI法は、「相当数の作業員が必用」、「抜き取り検査のため代表値で管理」、「重機と人が混在した作業」が課題であった。
- 比抵抗による密度管理を採用し、従来の抜き取り確認に対して連続監視が可能となるとともに、品質管理の高速化を可能とした。



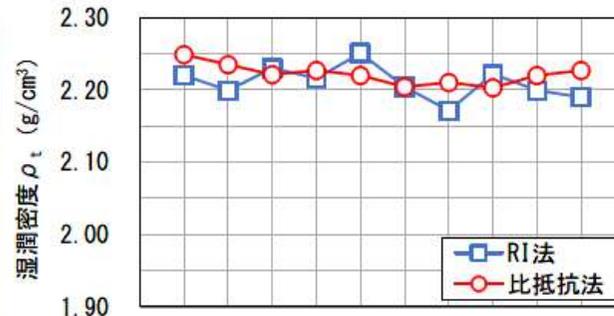
相当数の作業員が必要  
抜き取り検査のため代表値で管理  
重機と人が混在しての作業



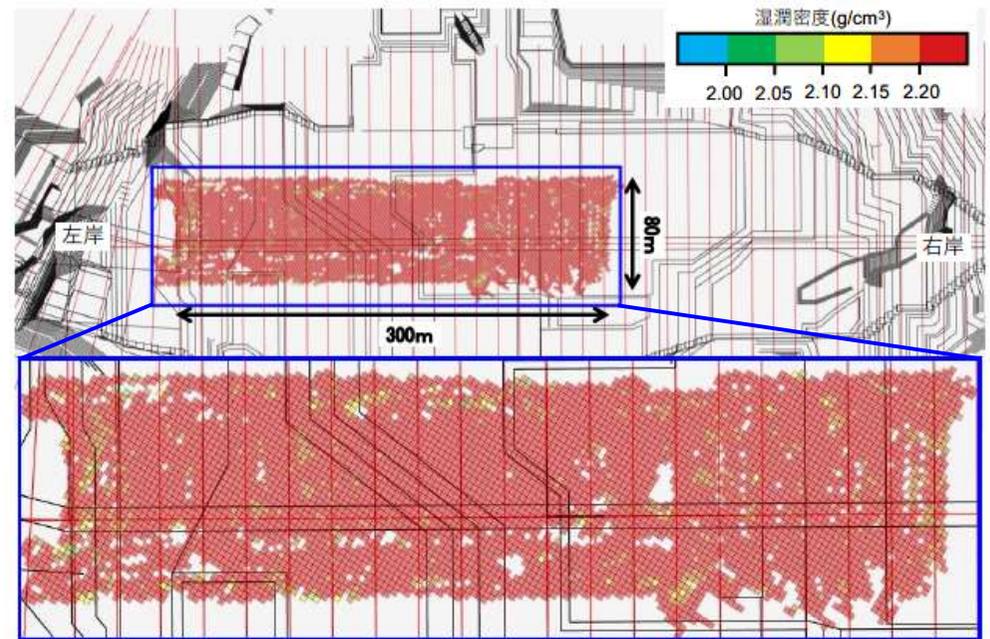
省力化  
品質向上  
自動化施工との親和性



比抵抗による密度管理の計測状況



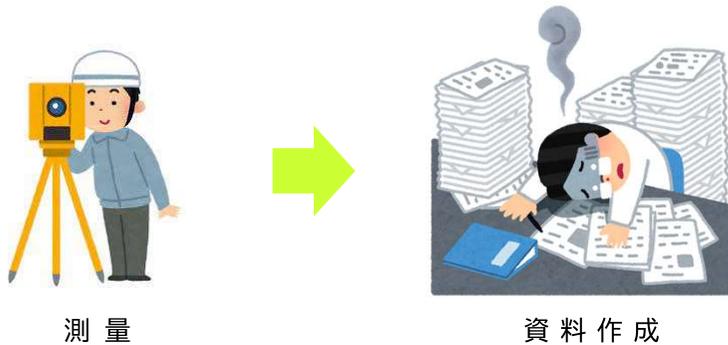
湿潤密度の比較



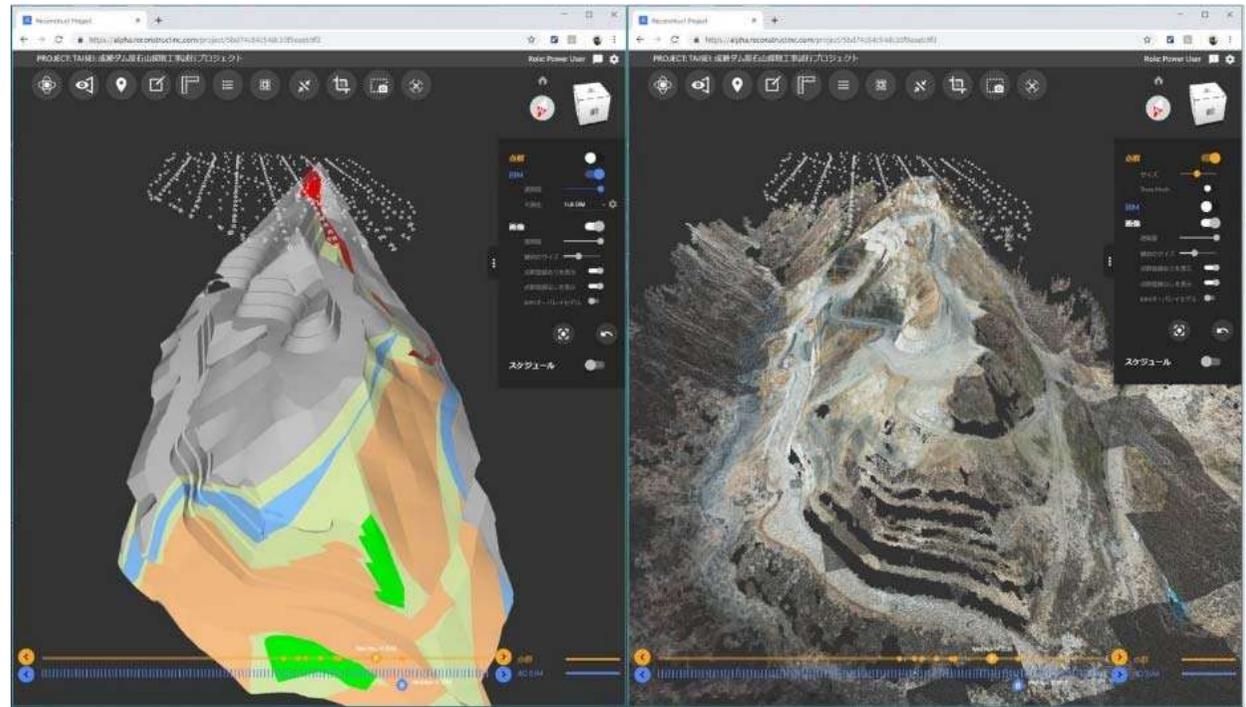
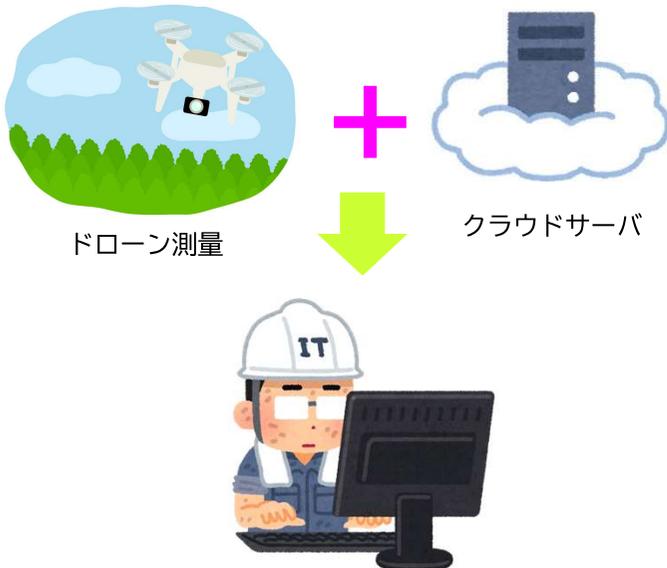
# [DX]ドローンによる3次元モデルとCIMモデルで工事進捗を可視化 Naruse Dam

- 成瀬ダム原石山採取工事では、ドローンによる3次元点群データと同時に撮影した空撮写真を貼り合わせて生成した3次元モデルとCIMモデルを重ね合わせ進捗を確認。
- ドローンが記録したデータは、クラウドサーバに保存。自動で3次元モデルに変換。（夕方のデータが翌朝には3次元モデル化）
- 岩種毎の出来形数量も自動算出可能であり、現場の進捗管理や数量計算にかかる時間的コストを大幅に縮減。

これまでの進捗管理、数量計算書作成



成瀬ダム原石採取工事では



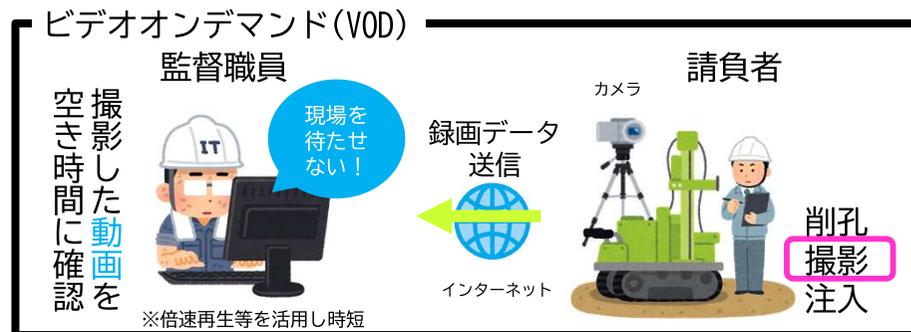
ドローン測量により作成した3次元モデルとCIMモデルを組み合わせて工事進捗を「可視化」

現場の進捗管理や数量計算書作成等を効率化

- 基礎処理のボーリングの検尺については、特記仕様書の段階確認において穿孔完了時に穿孔長の検測を行うことが規定されており、これまでは監督職員が（遠隔を含む）臨場確認を実施。
- 成瀬ダムにおける基礎処理のボーリング本数は約4,600本、延長は約152,000mと膨大であり、かつ、ボーリングの検尺は、ロッド引き抜きを監視し、その後、延長を確認することから確認そのものに時間を要する。（1日複数回の立会を行う場合も）また、少ない人員で監督業務を担当しているため監督職員の都合によっては、現場で「待ち」が発生、円滑な工事進捗に影響を与える可能性がある。
- 監督職員の検尺に要する時間（移動、引き抜き）を短縮するとともに、臨場検査等による現場（受注者）の「待ち」を最小化するため、立会検査、遠隔臨場に加え、業務の効率化のためビデオオンデマンドによる確認も可能とすることとした。（受発注者双方の業務効率化）
- 引き続き、展開可能な工種を検討し、成瀬ダム建設事業全体の生産性を向上に努める。

## ■ 現状とビデオオンデマンド検査のイメージ

※発注者支援を含めても人的リソースには限界がある。  
 ※既存の机上検査より目的の達成度は遙かに高い。



## ■ 改善による効果 (イメージ)

		工 程					時間的コスト
立会検査	監督職員	-	別業務	移動(60分)	引き抜き立会(60分)	移動(60分)	180分
	請負者	削孔	待機(α)	待機(60分)		注入	120+α分
遠隔臨場	監督職員	-	別業務	引き抜き立会(60分)	-	-	60分
	請負者	削孔	待機(α)		注入	削孔	60+α分
ビデオオンデマンド	監督職員	-	別業務	空き時間に確認(倍速等を活用)			15分
	請負者	削孔	引き抜き撮影(60分)	注入	削孔	引き抜き撮影(60分)	60分

▲次の作業に着手可能!

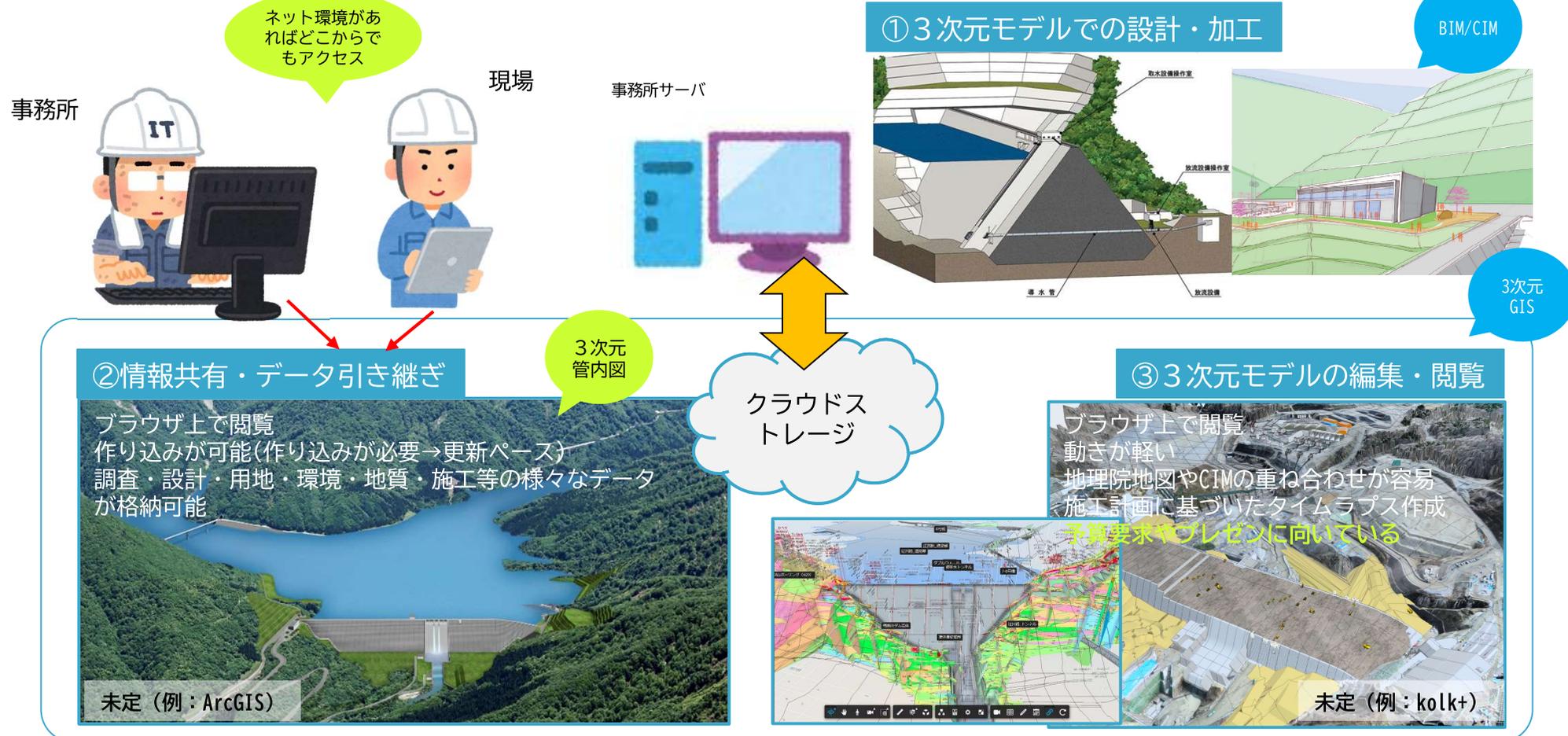
## ○課題

1. 従来の報告書や工事書類の形では、管理移行後、データを探すことが困難（どれが最終版かわからない等々）
2. 施工者が実施した材料の採取から施工までのトレーサビリティ
3. 既往ダムでは、機器を含むシステムが更新されず、陳腐化

これらを解決し、業務効率化を目的に、

## 3次元GIS（いわゆる3D管内図）を構築中

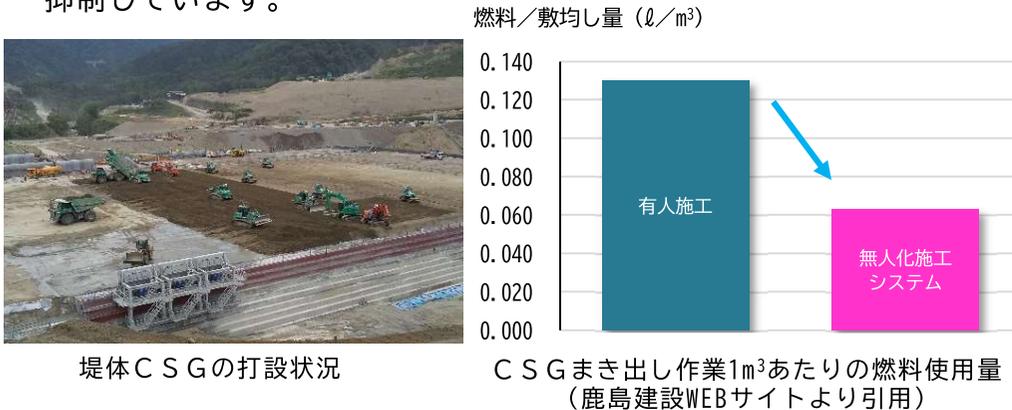
### 成瀬ダムのイメージ



- 成瀬ダムは、建設段階と維持管理段階のトータルでカーボンニュートラルを目指しています。
- 建設段階においては、材料・機械・施工方法をトータルで改善しCO2排出を削減。
- 維持管理段階においては、管理庁舎等にLED照明を使用するなど省エネルギー化を推進しCO2排出を削減。更に、水力発電（秋田県）により再生可能エネルギーを創出し、事業全体でカーボンニュートラルを目指します。

## ■ 自動化施工システムによるCO<sub>2</sub>抑制【建設】

- 施工者が導入した自動化施工システムにより、施工の各段階の効率化が図られ、単位時間あたりの打設量の増大、建設機械の走行距離が短縮が可能。これにより燃料使用量の減少=CO<sub>2</sub>排出量を抑制しています。

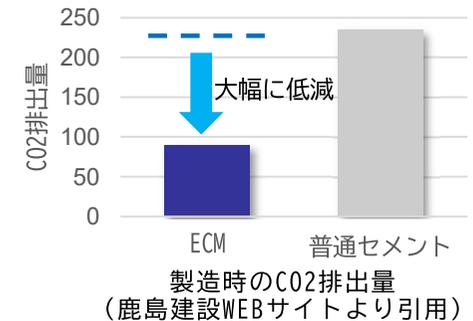


## ■ ECMコンクリートの適用【建設】

- 成瀬ダムの堤体コンクリートの一部にECM(Energy CO<sub>2</sub> Minimum)コンクリートを採用しています。
- ECMコンクリートは一般的なコンクリートに比べ製造時のCO<sub>2</sub>排出量を大幅に低減するコンクリートです。



ECMコンクリート打設の様子



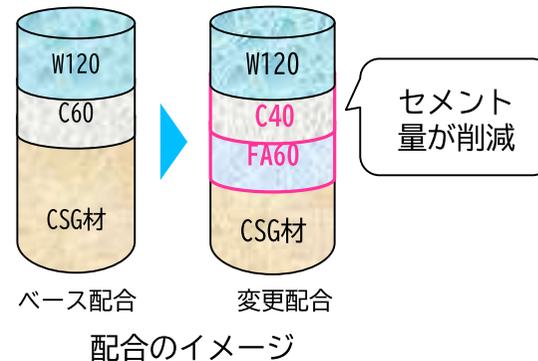
## ■ CO<sub>2</sub>を固定化したコンクリート側溝の試用【建設】

- グリーンイノベーション基金（G I 基金）事業において開発したセメント製造段階のCO<sub>2</sub>を削減するカーボンリサイクルセメントを利用した側溝を設置。従来のコンクリート製品と同等の強度や耐久性等を確認しています。



## ■ JIS規格外フライアッシュの活用【建設】

- 成瀬ダムの堤体に使用されるCSGにおいて、最上部2リフトにJIS規格外フライアッシュを添加して打設を行いました。
- 単位セメント量及びCSG材料を減らすことができ、成瀬ダムのコスト縮減と廃棄物の有効活用を両立しています。



JIS規格外フライアッシュを配合したCSG

- ・成瀬ダムでは、周辺の良い自然環境と共存するダムづくりを推進するため、成瀬ダム周辺の環境影響について環境影響評価を行い、工事に当たっては、環境保全対策等の検討内容に沿って周辺の自然環境に配慮し事業を進めています。また、試験湛水を令和8年度から実施予定であることから、ダム完成前後の水質や生物等のモニタリング調査計画の作成及び調査を行っています。
- ・具体的な調査や保全対策の実施に際しては、個別分野毎に専門の有識者からの指導・助言を得ながら環境保全の検討・対策を行っています。
- ・本年度の環境モニタリング結果や次年度以降の調査、保全計画等について助言を得るため、「成瀬ダムに係るイヌワシ・クマタカ調査委員会」、「成瀬ダムモニタリング部会」を開催し、ご意見をいただきながら事業を進めています。
- ・イヌワシ・クマタカ調査委員会において、委員から「令和6年度の工事による繁殖活動への影響はなかったと判断される」とのご意見をいただきました。
- ・モニタリング部会において、委員からご審議いただき、本年度のモニタリング調査結果と次年度のモニタリング調査計画に了承いただきました。

ナベクラザゼンソウ



クマタカ



イヌワシ



ヒメシジミ



サクラマス(ヤマメ)



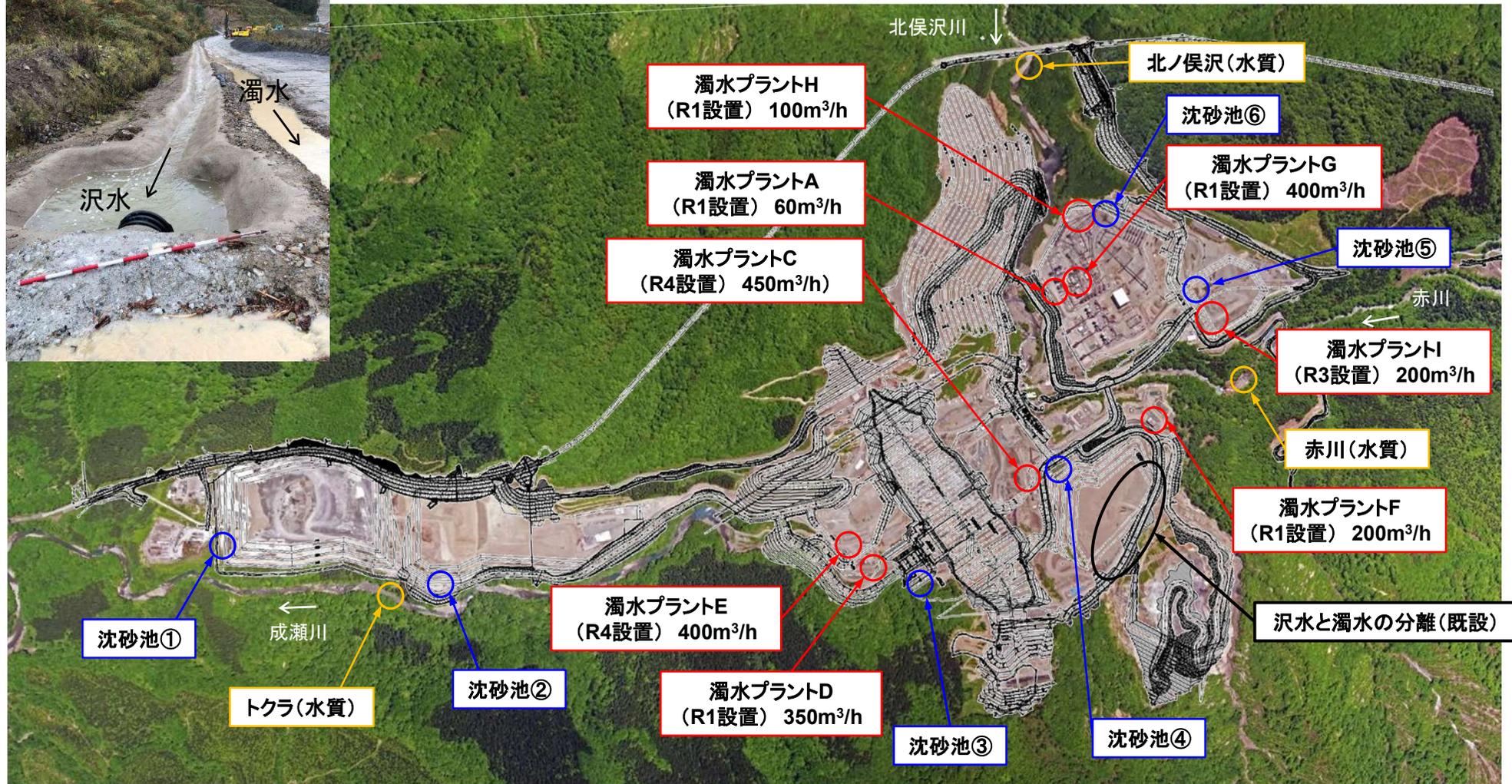
モニタリング部会



イヌワシ・クマタカ調査委員会



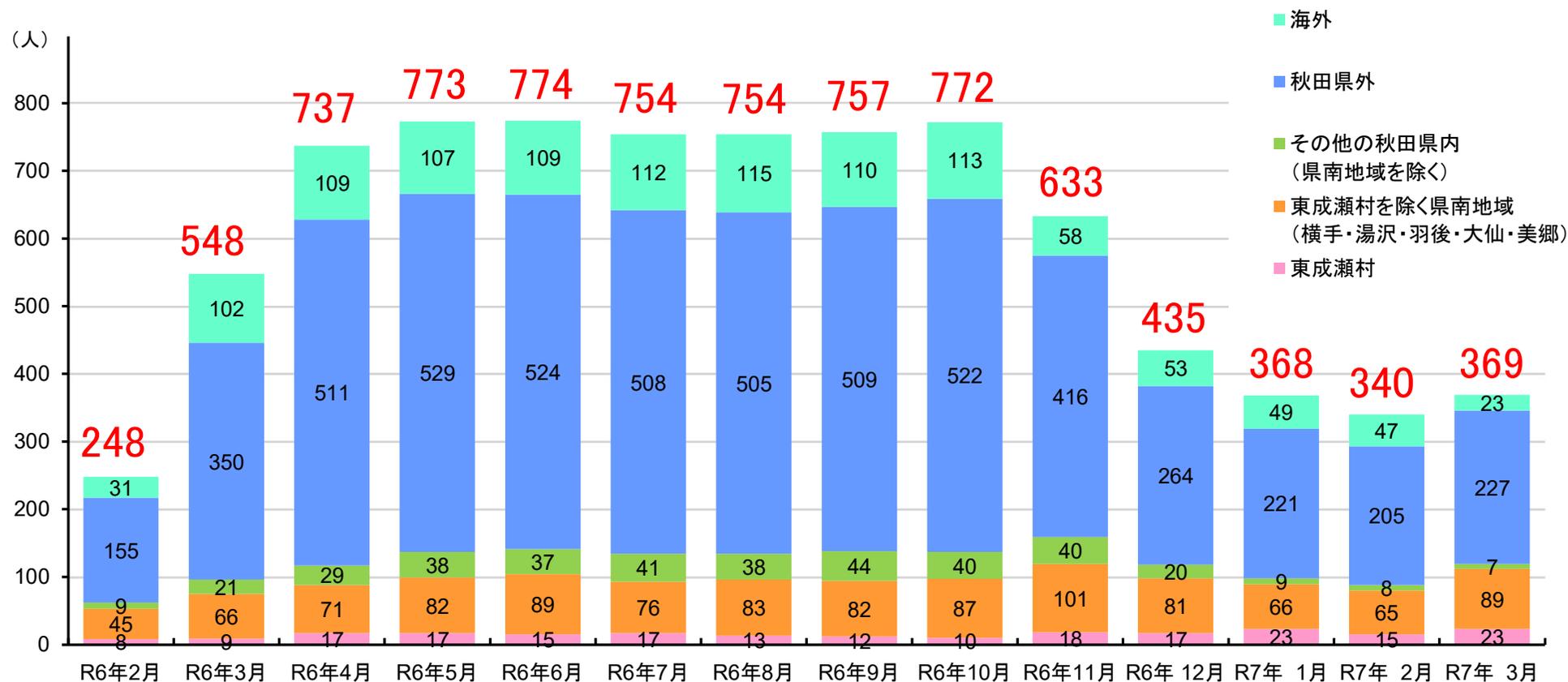
○成瀬ダムでは、濁水処理プラントや濁水の沈砂池を設け、工事で生じた濁りを低減させてから河川に放流しています。  
 ○令和7年度も、濁水処理プラント施設等による濁水発生防止対策を継続していきます。



※沈砂池①はトクラ(水質)より下流で河川に排水  
 ※濁水プラントBは撤去済み

# 従事者統計調査(R5～R6年度従事者推移)

工事件数	6	6	6	6	8	9	9	9	9	10	8	8	6	9
業務件数	7	6	9	12	11	10	12	15	13	14	11	14	10	10



◇県外からの従事者:青森47人、宮城32人、山形24人、岩手22人、新潟19人、北海道17人、福岡9人、大阪7人、東京6人、愛媛5人(※従事者の多いTOP10の地域をピックアップ)  
 ◇海外からの従事者:スリランカ22人、中国人1人

- 令和6年度は、堤体（CSG）打設最後の年であることから、「自動化施工は見納め」をキャッチフレーズに見学会等を中心とした広報を実施。また、建設業における残業規制の猶予期間終了、4週8休化に応じた見学コンテンツを企画。
- 建設中である事を最大限活用し、超大型重機が往来する現場内を職員のガイドで循環する「アドベンチャーバスツアー」（平日1回/月＋土曜1回/月）や「夜の現場見学会」（2回/年）を開催するなど、参加者の立場に立った見学会を展開。
- 見学会は、令和5年度まで実施していたアドベンチャーバスツアー等に加え、夏休み自由研究応援企画 こども見学会を実施。

参加者  
約450名

## ■ 「今だけ」「ここだけ」の“レア体験” 成瀬ダムへ冒険に出かけよう！ なるせダムアドベンチャーバスツアー 2024

超大型のダンプカーとすれ違ったり、堤体打設工事の自動化施工、原石山での原石採取など、通常は見る事が出来ない成瀬ダムが造られていく様子を間近で見学。



原石山展望台からダムを見る！



原石硬度確認



重機の展示(休工時)



堤体直下で記念撮影(休工時)

## ■ 上下流交流会 (8月1日)

参加者  
約20名

ダム流域の小学生を対象とした交流会と現場見学会



東成瀬村まるごと自然館にて

## ■ 夜の現場鑑賞会・見学会 (5月・8月)

参加者  
約130名

夕方から日暮れの時間帯からの現場見学会。



綺麗♪

## ■ 成瀬ダム秋の見学会 (10月26日)

参加者  
約70名

東成瀬村産業祭との合同の現場見学会



堤体を間近で見学！

## ■ 教育機関等の見学

参加者  
約450名

学生等を対象とした現場見学会(10月末まで)



増田中学校見学会

# 【広報活動】日本ダムアワード2024 受賞！

○日本ダムアワードは、一年間のダムの活躍を振り返り、ダムファン有志による委員が様々な角度から活躍したダムをノミネート。委員と観客の皆さんによる投票で、各部門で今年もっとも印象に残る働きをしたダムを選出し、その功績を讃えよう、というイベントです。

※日本ダムアワードWEBサイトから転載

○賞は、ダムの役割を鑑みて部門ごとに審査され、今年一番ダムファンの印象に残ったイベントとすることで #成瀬ダム夜の現場見学会2024 が日本ダムアワード2024 イベント賞を受賞しました。

○成瀬ダムは、24時間体制でダム建設を進めており、工事用照明に照らされて浮かび上がる、ダム堤体やCSG・コンクリートを製造するプラントは「工場夜景」のように幻想的です。

○成瀬ダムでは、事業広報及び地域活性化の観点から「夜の現場見学会」を実施しており、種々の見学会の中で最も人気の高い見学会となっています。

### ●日本ダムアワード2024

開催日：2024年12月21日（土）

時間：16時30分開場・17時15分開演・20時15分終了

会場：東京カルチャーカルチャー（渋谷）

※1月26日に開催された成瀬ダム“ダム活”キックオフミーティングにおいて、日本ダムアワードの佳様とSUJUN様から賞状と盾を授与いただきました。

#### 【受賞ダム】

ダム大賞：小屋ダム（石川県）

放流賞：阿蘇立野ダム（九州地整）

低水管理賞：日吉ダム（水機構）

イベント賞：成瀬ダム（東北地整）

洪水調節賞：小屋ダム（石川県）

建設ダムの受賞は2019年のハツ場ダム（大賞）以来5年ぶり



日本ダムアワード2024（事務局提供）  
（2024. 12. 21）



授与式（2025. 1. 26）

### ●成瀬ダム夜の現場見学会2024

○令和6年度は、堤体（CSG）打設最後の年であることから、「自動化施工は見納め」をキャッチフレーズに見学会を中心とした広報を展開。また、建設業における働き方改革に応じた見学コンテンツを企画しています。

○各種見学会は、「業務の自分事化・理解促進」「負担の分散」の観点からローテーションを組み職員全員が見学会を担当。特定の職員に負担が集中しないように工夫しています。特に、若手職員は企画・現場説明で活躍してもらっています。

○夜の見学会は、暗くなる前に「工事状況の説明」「超大型重機の展示」などを行った後、展望台に移動して夜の建設現場「工場夜景」を觀賞いただいています。（令和6年は鑑賞会と見学会の計2回実施。）

○東成瀬村と共催。堤体・原石山両JVに重機展示など協力いただき関係者一丸となって見学会を実施しています。



成瀬ダム夜の現場見学会2024

○最先端の技術を活用し、国内最大級の台形CSGダムを建設している成瀬ダムの現場は、人材育成のフィールドとして最適と自負しています。

○これまでの建設業のイメージを大きく変える成瀬ダムは、度々マスコミに取り上げられるなど高い関心を集めている。教育機関・建設業協会女性部の視察を積極的に受け入れることにより、事業の理解促進に加え、将来の建設産業を担う若い世代、女性技術者等に対し、建設分野の魅力を発信しています。

※教育機関等は、R6で16機関452名が視察。（幼稚園から大学まで幅広く対応）

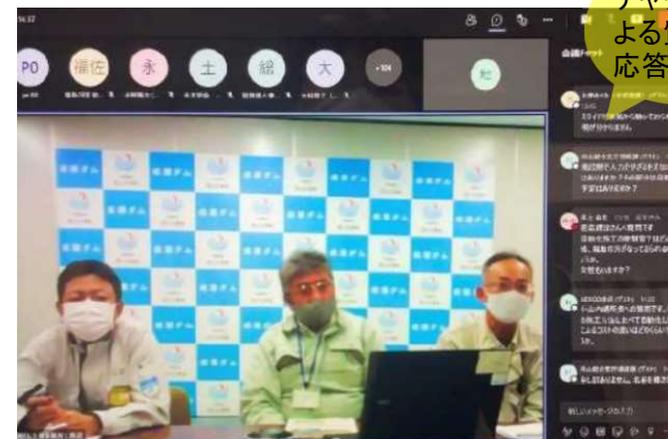


横手清陵学院高等学校の現場見学(R6. 9. 25)

DX LABO  
でAR体験



秋田大学の現場見学(R6. 9. 27)



チャットによる  
質疑・  
応答

女性技術者（土木学会）を対象とした  
オンライン見学会(R3. 10. 20)



増田中学校の現場見学(R6. 5. 17)



認定こども園こひつじの現場見学  
(R6. 7. 1)



由利建設業協会（女性部）見学会(R6. 9. 13)

- 建設業の魅力を幅広くPRし、建設産業への興味・共感を広げ、担い手の確保につなげる事を目的とした「けんせつ未来フェスタ」が10月12日にイオンモール秋田で、建設産業関係団体により開催。
- 成瀬ダム工事PRコーナーでは、成瀬ダム工事事務所と堤体・原石山両JVが連携し、スタンプラリー形式によるメモリアルストーンを実施。ダムに実際に使用する石材に思い思いの文字やペイントを施してもらい、記念撮影と参加証明書を配布。親子連れを中心に500名を超える方が参加。
- この他、パネル展示による事業紹介や、普段は立ち入ることのできない取水塔や減勢工等のダイナミックな工事現場をVRゴーグルで間近に体験するバーチャル見学会を実施。大盛況であった。

## ○開催概要



チラシ



フェスタの様子

## ○メモリアルストーン



メモリアルストーン



親子連れを中心に大盛況

## ○VRゴーグルによるバーチャル体験



事務所若手職員が対応



バーチャル画像（減勢工）



メモリアルストーンの作成



「成瀬ダムの書」と記念撮影



スタンプラリー

## 建設業体験フェスタ in 湯沢翔北高校雄勝校2024への協力

- 成瀬ダムは、国内最大級の台形CSGダムを自動化施工をはじめとする先端技術を活用し建設中であり、堤体打設が本格化しています。
- 地元建設業の人材確保、魅力発信をテーマに、(一社)雄勝建設業協会が湯沢雄勝及び近隣の高校生を対象とした建設業体験フェスタを開催。
- 地元建設業協会と連携し、建設業の現状と魅力を発信するとともに人材育成に協力しています。

### ■ 成瀬ダムの見学状況



### ■ 建設業体験フェスタ in 湯沢翔北高校雄勝校 2024

1. 日時: 令和6年7月22日(月)~26(金)
2. 概要
  - 1~2日目: 小型建設機械講習
  - 3日目: 現場見学会
    - 1) 成瀬ダム建設工事 (KAJIMADXLABO・原石山展望台等)
    - 2) 国道398号稲庭バイパス道路改良工事
  - 4~5日目: 実務体験およびドローン操縦体験
3. 参加者  
湯沢翔北高校・同高雄勝校・増田高校・羽後高校・横手清陵学院高校の5校30名の高校生が参加



### ■ 参加した生徒の感想

- ・成瀬ダムの見学では、ICT作業の様子も見れて楽しかった。
- ・成瀬ダムは迫力・スケールが大きくて、感動した。
- ・職業選択に建設業が入る機会になった。
- ・建設業に対するイメージは大変で辛そうなイメージだったが、体験後はかっこよくて憧れる職業に変わった。今後の進路選択の視野に入れたいと思う。

○今後の水源地域ビジョンの策定、行動計画の立案に向けて、水源地自治体である東成瀬村をはじめとする関係者との連携および参画により、インフラツーリズムなどダムを活用した地域振興に関する様々な取り組みを実施中。

## ■ 検討体制 (2017～)

- ・ ダム水源地 (東成瀬村)、下流自治体 (湯沢市、横手市、大仙市)、ダム事業者 (国交省)、地元関係者、民間事業者などによる各種WGを立ち上げて、地域活性化に向けたダム活用方法・施策内容のアイデア出しとメニュー等の検討、具体化に向けた進め方などを議論。
- ・ 2017～19：アイデア出しや施策メニューの検討
- ・ 2020～：施策メニュー実現に向けた試行・拡充



行政WG



成瀬の森づくり(植樹)



旅行会社でも日帰り旅行企画の行き先にダムを対象にしている(R4.6月の例)

名称	構成メンバー
行政WG	行政機関(東成瀬村・下流自治体・成瀬ダム)
なるせダムミーティング	地元関係者、民間事業者、東成瀬村、成瀬ダム
ダムツーリズムWG	観光協会、旅行会社、宿泊・飲食業、村、ダム
ダムカレーWG	商工会、飲食業、東成瀬村、成瀬ダム

## ■ 先行事例ダム視察 (2018～)

- ・ ダムを利活用した地域振興の方策について、先例地の実績を参考とし、関係者と意見交換。
- ・ 成功事例の内容や経過、課題などを確認 (津軽ダム、森吉山ダム、湯田ダム、長井ダム、胆沢ダムなど)

## ■ 先行施策の試行 (2020～)

- ・ 試行により実現に向けた課題抽出、実施内容の磨き上げ
  - ツーリズム (=インフラツーリズム)
  - 上下流交流 (児童生徒の交流、植樹)

### 施策の素材

■ 東成瀬村 + 下流自治体・周辺地域  
(観光やレクリエーション、食、文化、歴史、自然、教育など)

■ ダム利活用  
Ex) ダム見学 (工事中、完成後)、ダム湖周辺利活用 (完成後)

## ■ 令和6年度取組実績 (2024)

- ・ ツーリズム：これまでのモニターツアー等の振り返りを行い、旅行会社による新たなバスツアーを開催。【10月13日実施】
- ・ 上下流交流①：水源地域と下流自治体の児童生徒による体験型交流を各市村の教育委員会と連携し開催。【8月1日実施】
- ・ 上下流交流②：工事で使用した土地を緑に返す森づくりの取り組みを通じて、ダム建設への理解や人と人とのつながりの醸成を図る「成瀬の森づくり」を昨年に引き続き開催。【第3回：6/16】、【第4回：10/20】
- ・ ダム周辺利活用：ダム完成後の周辺利活用について、今後策定予定の水源地域ビジョンの基本理念や施策メニュー案、運営手法等の行動計画について東成瀬村と協働で検討を継続実施。
- ・ ビジョン策定関係：令和9年度のダム完成後を見据えたビジョン策定に向けて検討委員会を設立。【12月26日設立】

- ダム完成後も水源地域の自治体が自立的かつ持続的に発展するために、東成瀬村の地域資源とダムの魅力を掛け合わせたダムツーリズムの検討を令和2年より開始。
- この一環として、10月13日に、民間旅行会社が主催するバスツアーを試行。ツアーでは、東成瀬村の「紅葉きのこまつり」においてきのこ汁の振舞いと成瀬ダム工事事務所職員が案内する現場見学を実施。

👉参加人数：合計110名（◇秋田発：38名、◇岩手発：36名、◇山形発：36名）

👉ツアー行程：◇各地出発 ⇒◆紅葉きのこまつり(きのこ汁お振舞い) ⇒◆成瀬ダム見学 ⇒◇各地到着

コースNo. 24-412-73M-1 旅行回数: 1日旅行 25名  
 新コース 1名様 ¥9900  
 Web予約はこちら  
**秋色に染まる 世界遺産中尊寺**  
 2026年完成予定!  
**成瀬ダムを案内人と導**  
 出発日 10月13日 旅行代金(お一人様) 9,990円  
 成瀬ダム工事現場(簡観)  
 キノコ汁のお振舞い付  
 古川駅(7時00分発)=仙台駅(8時00分発)=東成瀬村 夢なる直売所(紅葉きのこまつりを自由見物。新鮮な山菜や果物、手芸品などのお買い物。キノコ汁のお振舞いと東成瀬村の銘菓などを集めたお菓子セット付)=東成瀬村役場にてバス乗換)=なるせダム(最新技術使った建設中のダムを案内人と一緒に見物)=東成瀬村役場にてバス乗換※お弁当の昼食)=中尊寺(紅葉に染まる世界遺産中尊寺を自由参拝。※有料施設は各自払いとなります)=各乗車地(16時40分～17時40分頃着)  
 【利用(ス会社)】東日本旅行又は同等クラス  
 ※紅葉の見頃は天候等によって前後します。紅葉の見頃ではない場合は各地の景観をお楽しみ下さい。

▲募集チラシ



▲ダム見学の様子



▲ツアー参加者とのふれあい



▲直売所(きのこ汁ふるまい)

水源地地域の東成瀬村と下流受益自治体の方々が、水源地域や水の大切さ等について、互いに理解を深めることを目的に、東成瀬村の文化と歴史を体験し交流する「成瀬ダム交流会」を令和4年度から実施（今年で3回目の開催）。

## ■ 成瀬ダム交流会（令和6年8月1日開催）

- ・水源地域の東成瀬村と、下流受益自治体の湯沢市・横手市・大仙市の小学校を対象に参加者を募集し21名が参加。
- ・東成瀬村のまるごと自然館を会場に、村内で発見された縄文遺跡を学びながら、勾玉づくりや火起こしなど縄文体験のほか、地元産の米や野菜を味わうなどし、交流を深めました。
- ・成瀬ダムの見学や大型重機の試乗体験などを行いました。
- ・今後も継続的に水源地域と下流受益自治体の方々の交流の輪を広げていく予定です。



勾玉づくり



火起こし体験



みんなで昼食



現場見学



縄文服を着て記念撮影



55tダンプと記念撮影

**成瀬ダム交流会** 縄文体験 × 成瀬ダム見学

2024.8/1 木

9:30～15:30 (集合時間 9:30) 雨天決行

対象者 湯沢市・横手市・大仙市・東成瀬村の小学生・保護者

参加費 1,000円/人 (昼食代、縄文体験料)

集合場所 東成瀬村多目的グラウンド駐車場(舞合・舞鶴)

申込先 東成瀬村の縄文体験館とダム工事現場見学 申し込みの受付は定員までとなります。

申し込み 締め切り 申し込みは令和6年7月23日(火)17:00まで 受付終了となります。定員に達した場合は、抽選となります。

申込期間 7/16(日)～7/23(火) 17:00まで

その他 雨天決行となります。当日の天候は関係なく開催いたします。

詳しい参加申込方法は裏面をご覧ください。

主催：東成瀬村・国土交通省 成瀬ダム工事事務所

**成瀬ダム交流会** 縄文体験 × 成瀬ダム見学

水源地域(東成瀬村)と水源地域を受け取る自治体(湯沢市・横手市・大仙市)のみなさんと交流の場です。

成瀬ダムの見学や体験を通じて、水源地域の大切さや水の大切さについて学び、交流の場を設けています。

当日のタイムスケジュール

9:30 集合 舞合(多目的グラウンド)集合

10:00 縄文文化体験教室(縄文土器づくり、火起こし)

11:00 昼食(地元産の米や野菜を味わう)

12:00 ダム見学(舞合、工事現場)

13:00 解散

お申込み方法 定員40名 申し込みは令和6年7月23日(火)17:00まで

下記のURL または、QRコードから申し込み下さい。

<https://forms.office.com/r/KFHE15BLUC>

応募期間：7月16日～7月23日(火) 17:00まで

お問合せ：東成瀬村 教育委員会 TEL:0182-47-3415 (受付 9:00～19:00)

みんなで育てよう！ 仙人郷 東成瀬村の森

## 成瀬の森づくり

(仮称)  
主催：東成瀬村、成瀬ダム工事事務所

15 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

### ～取組みの趣旨～

- 桧山台の跡地整備を、地域参加型で「苗木」を育てる
- 上下流交流や再来訪、環境保全に繋げる活動
- 継続した取組みとして、桧山台跡地整備に繋げる

第3回(6月16日実施)：参加者 計41名、 第4回(10月20日実施)：参加者 計32名  
計73名参加により実施。

### 【第3回】令和6年6月16日(日)

主な内容：幼木の採取と仮植地(森のほいくえん)への植樹



幼木の採取状況



幼木の採取状況



赤滝森のほいくえんへ移植



参加者による記念撮影

### 【第4回】令和6年10月20日(日)

主な内容：種子の採取と仮植地(森のほいくえん)・ポットへの植付(植付後のポットはお持ち帰り)



種子の採取状況



種子選別の様子



赤滝森のほいくえんへ移植



参加者による記念撮影

## ◆開催概要

- 過去に東成瀬村で実施されていた「赤滝祭り」の復活に繋がる事を期待するとともに、老若男女を問わず交流する場を創出し、ダム完成後を見据え村の活性化を図るために、成瀬ダム振興事業協同組合が、東成瀬村、観光物産協会、工事関係各社及び成瀬ダム工事事務所と連携し、令和6年8月25日に成瀬ダムまつりを開催。約2000名が来場。
- 成瀬ダムブースでは、成瀬ダム工事事務所と堤体・原石山両JVが連携してメモリアルストーン※を実施。参加特典として、「成瀬ダムの書」の前で記念撮影、当日限定の缶バッジを配布。200名を超える方が成瀬ダムの完成に思いを託した。そのほか、事業説明やVRゴーグルによるバーチャル現場体験を実施。  
※メモリアルストーンはCSGの母材として堤体に使用。
- ダムにより水没する赤滝やダム建設現場を巡るダム見学会も実施。見学会は事前予約で満員御礼。約120名がダムを見学。

## ○成瀬ダムまつりの様子



成瀬ダムまつりチラシ

当日の様子（餅まき）

## ○成瀬ダムブース



メモリアルストーンの作成「成瀬ダムの書」と記念撮影 VRゴーグルで現場体験

## ○現場見学会

ダム見学の記念品



右岸見学台で記念撮影

## ○来賓挨拶



高橋代表理事

御法川衆議院議員

住谷県議会議員

備前村長

安部事務所長

- 10月26日に東成瀬村の産業育成や地域交流を目的とした「東成瀬村産業祭」が開催され、約500人が訪れ盛大に開催されました。成瀬ダム工事事務所も「秋の現場見学会」「成瀬ダム展」で参画。
- 「秋の現場見学会」では、抽選で選ばれた70名がダム工事現場の見学に加え、ダム湖に沈む事になる赤滝の見学、堤体間近での重機展示・メモリアルストーン等を体験。秋の紅葉の最盛期のため、大好評。
- 「成瀬ダム展」では、パネル展示による事業紹介や、普段は立ち入ることのできない取水塔や減勢工等のダイナミックな工事現場をVRゴーグルで間近に体験するバーチャル見学会を体験。
- 更に、雄物川流域の流域治水の要である成瀬ダムについて、その役割等を広く理解と関心をもっていただく事を目的に、御朱印を模した「ダム印」作成。今回の産業祭において初めてお披露目・配布を開始するとともに、ダム名を書いていたいただいた東成瀬村在住の佐々木愛奈さんに事務所長から感謝状を贈呈。

## ○秋の現場見学会



堤体間近での見学



メモリアルストーン作成



記念撮影



重機の試乗体験



赤滝見学

## ○成瀬ダム展



バーチャル見学会

## ○成瀬ダム「ダム印」



ダム印



配布の様子（当日限定で佐々木愛奈さんが日付を記入）



感謝状贈呈（右から副村長、佐々木さん、事務所長）

- 成瀬ダムでは、令和9年度ダム完成に向けて、自立かつ持続的な地域の活性化について検討するため、令和6年12月26日に「成瀬ダム水源地域ビジョン策定委員会」※を設立。検討をスタートしました。
- この取り組みの一環として、約150名参加により、「地域の機運醸成」や「成瀬ダムを活用した周辺地域活性化」についてディスカッションを行う「成瀬ダム“ダム活”キックオフミーティング」を開催しました。
- オープニングアトラクションとして「成瀬仙人太鼓」の披露、12月21日に受賞した「日本ダムアワード2024」の授与式を行いました。
- 基調講演・パネルディスカッションを行い、閉会挨拶では、横手市長から「今後も継続実施し、刺激・高め合い、パネリストの方々にも協力いただき、ムーブメントを流域全体へと繋げていきたい」と決意が述べられました。

■ **開催日時** 令和7年1月26日（日）10時～12時 ■ **開催場所** 東成瀬村地域交流センター ゆるるん  
 ■ **主催** 成瀬ダム水源地域ビジョン策定委員会 ■ **協力** 成瀬ダム振興事業協同組合・東成瀬村観光物産協会・東成瀬村商工会 ■ **後援** 東北地域づくり協会  
 ※水源地域ビジョンとは：ダムを活かした水源地域の自立・持続的な活性化を目的とした「水源地域活性化のための行動計画」で、策定にあたっては水源地域の自治体や地元住民、ダム事業者・管理者等が策定主体となり、流域の自治体、関係行政機関等に参画を得て進めていくもの。

## プログラム

1. **開会挨拶** 東成瀬村長 備前 博和
2. **成瀬ダムと水源地域ビジョン** 成瀬ダム工事事務所長 安部 昌孝
3. **基調講演** (一社)みやぎ大崎観光公社 常務理事COO 阿部 昌孝  
『ダムを活用した地域の価値向上と人流創造を目指して』
4. **“ダム活”ミーティング**  
『一ダム×地域×未来ー みんなで語ろう！  
私たちの取組みと成瀬ダムとの新しいミライ』  
【コーディネーター】  
水源地域ビジョン策定委員会 委員長、秋田大学 教授 林 武司  
【アドバイザー】 (一社)みやぎ大崎観光公社 常務理事COO 阿部 昌孝  
【パネリスト】 ● 東成瀬村 丸太組 代表 内野 翔太  
● 湯沢市 いんない未来塾 代表 佐々木 拓弥  
● 横手市 羽場こうじ店(くらを) 鈴木 百合子  
● 大仙市 (株)つじや 代表取締役 辻 卓也  
● 東成瀬村長 備前 博和
5. **閉会挨拶** 横手市長 高橋 大



基調講演の様子



会場の状況

## ●ミーティング要旨

- 【**基調講演**】
- ・観光の効果・戦略と加美町における観光振興の取組の紹介とその成果。
  - ・企業の経営理念のように具体的なビジョンを持つことが重要。
  - ・日本の地方都市はどこも自然豊か。インバウンドを増やすためには地域にある資源を活かすことが重要。
  - ・東北の真ん中（秋田・山形・岩手・宮城）の広域的な連携による新たな観光ルートの開拓。
- 【**“ダム活”ミーティング**】
- ・近隣地域で協力し、一体的に魅力的な地域としていくことが重要。
  - ・年配者は知恵と人脈を提供し、若者は積極的に行動を起こすことが重要。
  - ・ダム建設という国家事業が地域に来ることは稀。ダム建設中に国の持つ人脈・金・規制緩和といったツールを使い倒すことが重要。
  - ・ダムについて知り、自身の生活とダムとの関わりに気付くことが「ダム活」の第一歩。
  - ・地域にある当たり前の食文化を発信することで目指す地域活性化。
  - ・東成瀬村に行けば楽しいというイメージの村にしたい。
  - ・成瀬ダムから鳥海ダムにかけて地域の文化・名勝を巡るダムツアーの提案。

## 日本ダムアワード2024授与式



授与式の様子

## 1. 開会挨拶



東成瀬村長

## 2. 概要説明



成瀬ダム工事事務所長

## 3. 基調講演



みやぎ大崎観光公社  
阿部 昌孝

## 4. “ダム活”ミーティング



ディスカッションの様子

## 5. 閉会挨拶



横手市長

# 【参考】ダムの諸元比較(東北管内直轄ダム)

高さ ベスト10 (m)

順位	ダム名	高さ	所在地	完成年度
1	胆沢ダム	127.0	岩手県	H25
2	長井ダム	125.5	山形県	H23
3	月山ダム	123.0	山形県	H13
4	成瀬ダム	114.5	秋田県	事業中
5	寒河江ダム	112.0	山形県	H2
6	鳴瀬川ダム	107.5	宮城県	事業中
7	摺上川ダム	105.0	福島県	H17
8	玉川ダム	100.0	秋田県	H2
9	津軽ダム	97.2	青森県	H28
10	鳴子ダム	94.5	宮城県	S32

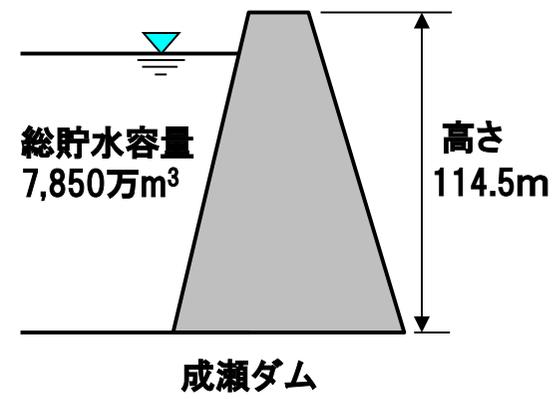
総貯水容量 ベスト10 (千m<sup>3</sup>)

順位	ダム名	総貯水容量	所在地	完成年度
1	玉川ダム	254,000	秋田県	H2
2	摺上川ダム	153,000	福島県	H17
3	田瀬ダム	146,500	岩手県	S29
4	胆沢ダム	143,000	岩手県	H25
5	津軽ダム	140,900	青森県	H28
6	湯田ダム	114,160	岩手県	S40
7	寒河江ダム	109,000	山形県	H2
8	七ヶ宿ダム	109,000	宮城県	H3
9	成瀬ダム	78,500	秋田県	事業中
10	森吉山ダム	78,100	秋田県	H23



凡 例

	管理ダム	18ダム
	建設ダム	3ダム



## 高さランキング

順位	ダム名	堤高 (m)	所在地	竣工年
1	成瀬ダム	114.5	秋田県	事業中
2	鳴瀬川ダム	107.5	宮城県	事業中
3	鳥海ダム	81.0	秋田県	事業中
4	本明川ダム	55.5	長崎県	事業中
5	三笠ぼんべつダム	53.0	北海道	事業中
6	当別ダム	52.0	北海道	H24
7	厚幌ダム	47.2	北海道	H30
8	サンルダム	46.0	北海道	H30
9	金武ダム	39.0	沖縄県	H25

## 堤頂長ランキング

順位	ダム名	堤頂長 (m)	所在地	竣工年
1	成瀬ダム	755.0	秋田県	事業中
2	厚幌ダム	516.0	北海道	H30
3	金武ダム	461.5	沖縄県	H25
4	当別ダム	432.0	北海道	H24
5	鳥海ダム	365.0	秋田県	事業中
6	鳴瀬川ダム	358.0	宮城県	事業中
7	サンルダム	350.0	北海道	H30
8	本明川ダム	340.0	長崎県	事業中
9	三笠ぼんべつダム	160.0	北海道	事業中

## 堤体積ランキング

順位	ダム名	堤体積 (m <sup>3</sup> )	所在地	竣工年
1	成瀬ダム	4,850,000	秋田県	事業中
2	鳴瀬川ダム	1,644,000	宮城県	事業中
3	鳥海ダム	1,331,000	秋田県	事業中
4	当別ダム	813,000	北海道	H24
5	本明川ダム	530,000	長崎県	事業中
6	サンルダム	495,000	北海道	H30
7	厚幌ダム	490,000	北海道	H30
8	金武ダム	339,000	沖縄県	H25
9	三笠ぼんべつダム	214,000	北海道	事業中

## 総貯水容量ランキング

順位	ダム名	総貯水容量 (千m <sup>3</sup> )	所在地	竣工年
1	成瀬ダム	78,500	秋田県	事業中
2	当別ダム	74,500	北海道	H24
3	サンルダム	57,200	北海道	H30
4	厚幌ダム	47,400	北海道	H30
5	鳥海ダム	46,800	秋田県	事業中
6	鳴瀬川ダム	45,600	宮城県	事業中
7	三笠ぼんべつダム	8,620	北海道	事業中
8	金武ダム	8,560	沖縄県	H25
9	本明川ダム	6,200	長崎県	事業中



WEBサイト



X



Facebook



YouTube



国土交通省 東北地方整備局

**成瀬ダム工事事務所**

〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字宮田97-1

TEL:0182-23-8450(代表)